

令和4年度

事業報告 I



赤間保育園

目 次

◆年齢別児童数	P 1
◆職員配置	P 2
◆目標管理シート	P 3
◆延長保育申し込み者数	P 4
◆一時預かり保育事業	P 5
◆一時保育利用者数	P 6
◆職員の自己評価	P 7
①人権擁護・人権侵害の防止・性的虐待の防止のための自己点検	P 7
②職能別自己評価（保育室・給食室・事務室）	P 9
③自己点検チェックリスト	P 1 2
（人権擁護・人権侵害の防止・性的虐待の防止のための点検事項）	
④職員自己評価報告（保育士前期）	P 1 6
⑤職員自己評価報告（保育士後期）	P 2 1
⑥職員自己評価報告（給食室前期）	P 2 6
⑦職員自己評価報告（給食室後期）	P 3 0
⑧職員自己評価報告（事務室前期）	P 3 4
⑨職員自己評価報告（事務室後期）	P 3 8
◆保護者アンケート結果について	P 4 1
◆保護者アンケート集計結果	P 4 3
◆職員による保育園自己評価	P 5 5
◆職員による保育園自己評価アンケート集計結果	P 5 8
◆地域支援事業	P 6 9
◆保育士派遣事業	P 7 5
◆研修	P 7 6

各月年齢別児童数

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
令和4年4月1日	() 11 名	() 42 名	() 48 名	() 45 名	() 47 名	() 40 名	(0) 233 名
5月1日	() 12 名	() 44 名	() 49 名	() 44 名	() 47 名	() 40 名	(0) 236 名
6月1日	() 15 名	() 44 名	() 49 名	() 44 名	() 47 名	() 40 名	(0) 239 名
7月1日	() 17 名	() 45 名	() 49 名	() 44 名	() 47 名	() 40 名	(0) 242 名
8月1日	() 20 名	() 44 名	() 49 名	() 44 名	() 47 名	() 40 名	(0) 244 名
9月1日	() 21 名	() 44 名	() 49 名	() 44 名	() 47 名	() 40 名	(0) 245 名
10月1日	() 21 名	() 42 名	() 49 名	() 44 名	() 46 名	() 40 名	(0) 242 名
11月1日	() 24 名	() 41 名	() 49 名	() 44 名	() 46 名	() 40 名	(0) 244 名
12月1日	() 27 名	() 42 名	() 49 名	() 44 名	() 46 名	() 40 名	(0) 248 名
令和5年1月1日	() 27 名	() 42 名	() 49 名	() 45 名	() 46 名	() 39 名	(0) 248 名
2月1日	() 27 名	() 41 名	() 49 名	() 45 名	() 46 名	() 39 名	(0) 247 名
3月1日	() 27 名	() 40 名	() 49 名	() 44 名	() 46 名	() 39 名	(0) 245 名

職員の配置実績

赤間保育園

① 正規職員

職種	当初配置	増減	年度末配置
園長	1名	0名	1名
副園長	1名	0名	1名
主任保育士	2名	0名	2名
主任栄養士	1名	0名	1名
副主任保育士	1名	0名	1名
保育士	14名	-4名	10名
栄養士	2名	0名	2名
事務	1名	0名	1名
合計	23名	-4名	19名

② 非常勤職員（常勤・短時間）

職種	当初配置	増減	年度末配置
副園長	1名	0名	1名
副主任保育士	1名	0名	1名
保育士	24名	-1名	23名
看護師	1名	0名	1名
子育て支援員	5名	4名	9名
保育補助員	2名	-1名	1名
保育補助員 （衛生管理者）	1名	0名	1名
栄養士	1名	2名	3名
調理員	1名	0名	1名
用務員	1名	0名	1名
事務	1名	0名	1名
合計	39名	4名	43名

令和4年度 目標管理シートに基づく
園長・副園長と職員との面談について

(1) 目的

- ・ 目標管理シートをもとに面談を実施し、面談を通して目標の進捗状況の確認と園長・副園長と職員とのコミュニケーションを図る。
- ・ 園の年間目標に対する取り組みを明確にし、職務改善につなげる。

(2) 方法

- ・ 目標管理シート「人権に配慮した子どもへの関わり方」「職員間のコミュニケーション力を高める」「自分自身の保育の質の向上」「職務分掌への取組み」について一人ひとりが目標を設定し、それをもとに全職員に対して面談を実施。
- ・ 年3回(当初面談6月～7月、中間面談10月～11月、最終面談1月～2月)実施。
- ・ 一人20分～30分

(3) 成果と課題

1) 成果

- ・ 全職員が「人権に配慮した子どもへの関わり方」に取り組めたことで、適切な対応を常に意識することにつながった。また、「職員間のコミュニケーション力を高める」では、チーム保育として職員間の連携の重要性に対して認識を深めることができた。
- ・ 「保育の質の向上」に対しては、具体的な目標を掲げて積極的に取り組み、成果を上げる職員も見られた。
- ・ 短い時間ではあったが、全職員と3回面談を実施したことで職員とのコミュニケーションを取ることができた。また、職員から様々な情報を得ることもでき、円滑な園経営を行う際の参考にもなった。

2) 課題

- ・ 「職務分掌」に対して目標設定を実施したが、具体的な目標を立てることが難しく、不十分な取り組みとなった。
- ・ それぞれの目標設定が曖昧で、具体的な目標となっていない職員が見られた。
- ・ 年度後半の中途採用者の目標設定と面談日の設定ができていなかった。

(4) 次年度に向けての改善

- ・ 目標管理シートの改善・・・具体的な目標設定
- ・ 中途採用者へは面談は必ず実施する。
- ・ 職員との当初面談の開始時期を早める。

令和4年度 延長保育申し込み者数

赤間保育園

月	0歳児				1～5歳児				合計人数
	短時間 (前1時間)	短時間 (後1時間)	標準時間 (1時間)	標準時間 (2時間)	短時間 (前1時間)	短時間 (後1時間)	標準時間 (1時間)	標準時間 (2時間)	
	園児数 (人)	園児数 (人)	園児数 (人)	園児数 (人)	園児数 (人)	園児数 (人)	園児数 (人)	園児数 (人)	園児数 (人)
4月					2	1	36	11	50
5月	2				4		36	8	50
6月							35	8	43
7月					2	2	35	8	47
8月					2	2	34	9	47
9月							37	9	46
10月					1		38	8	47
11月			2		1		36	10	49
12月			2		1		36	12	51
1月			2		1		35	12	50
2月			1	1	2		34	13	51
3月				1	2		32	14	49
計	2	0	7	2	18	5	424	122	580

一時預かり保育事業

1. 一時預かり保育（たんぽぽ組）事業 活動計画と実践・評価と改善の課題

(1) 一時預かり保育の年間目標

1) 保護者のニーズ（※）を把握し、安心して利用できる環境作りを行う。

2) 一人ひとりの子どもの健康や生活状態を把握し、子どもが安心して楽しく過ごせるよう環境を整える。

※1、非定型的保育・・・保護者等の就労・職業訓練や就学等により、家庭での保育が断続的に困難となる児童のお預かり

※2、緊急保育・・・保護者等の疾患・入院・冠婚葬祭など、やむを得ない理由により、緊急一時的に保護者が必要となる児童のお預かり

※3、リフレッシュ保育・・・育児に伴う保護者の身体的・心理的負担を解消するため、一時的に児童のお預かり

(2) 計画・実践と評価・改善の課題

1) 保育者のニーズを把握し、安心して利用できる環境作りを行う。

① 計画と実践

(ア) 利用者がある時は、朝礼でその日の利用者の名前と利用時間を伝えた。また、職員室のクラス配置ボードに利用者の名前と利用時間がわかるマークを記入して、全職員がその日の利用者を把握し受け入れを行った。※○→全日 △→午前中の半日 ▽→午後の半日

(イ) 新規利用者がある時は、除去や熱性けいれんの有無などや離乳食の進み具合などを朝礼で伝え、全職員で把握をした。

② 評価・改善の課題

(ア) 毎月、数件の問い合わせの連絡が入った。園内における新型コロナウイルス感染症状況や行事・行事リハーサル・園児数に対する職員配置上の関係で希望者を全て受け入れることはできなかった。今後も、職員の人数が整えば、可能な限り受け入れを行う。

(イ) 保護者と担当者だけでなく、クラス担任が登降園時にコミュニケーションをとることで、保護者との信頼関係を築くことができた。

2) 一人ひとりの子どもの健康や生活状態を把握し、子どもが安心して楽しく過ごせるよう環境を整える。

① 計画と実践

(ア) 利用者は同年齢クラスの中で、年齢に合った保育活動を行った。

(イ) 登園時に保護者から健康状況や生活状況を確認した。

(ウ) 登園時検温を行った。

(エ) 保護者とクラス担任で、利用日は連絡帳のやり取りを行った。

② 評価と改善の課題

(ア) 園児と同様の保育を行った。しかし、初めての利用や時々利用の為、涙が出ることもあった。園児と同じように落ち着くまでは、1対1の対応が必要である。

(イ) 登園時に保護者との健康状態などの確認は、その都度丁寧に行った。また、降園時には、園での様子を分かりやすく伝えることを心がけた。

(ウ) 登園時には、毎回子どもの健康把握の為に検温や視診を行った。

(エ) その日の食事やおやつ状況・睡眠時間・機嫌・排便・検温・園児の様子について、口頭や連絡帳で保護者に伝えた。今後も、利用する保護者が安心して預けられるように丁寧な対応を心がける。

令和4年度 宗像市地域子ども・子育て支援事業

事業名： 一時預かり事業

保育所名： 赤間保育園

利用時間	延べ利用児童数												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
4時間以内	0	5	2	2	1	1	1	2		2	2	5	23
4時間超	0	0	14	17	20	27	1	4	1	2	3	4	93
合計	0	5	16	19	21	28	2	6	1	4	5	9	116

②

一保育利用料	半日	9:00~13:00	3歳未満児	2000円	3歳以上児	1500円
		13:00~17:00				
	全日	9:00~17:00	3歳未満児	3500円	3歳以上児	2500円

赤間保育園 令和 4 年度自己評価について

1. 人権擁護、人権侵害の防止、及び性的虐待の防止のための自己点検について

「社会福祉法人 赤間福祉会 基本方針書 (Akama Basic Policy Book)」には、「基本方針 1. 赤間福祉会の使命と役割」の章内で、第 1 番目に『人権尊重の指針』が取り上げられている。そこには具体的に、「子どもの権利」、「子ども一人ひとりの人格を尊重して保育を実践」、「保育者に必要な人権への配慮」等、人権に配慮した保育の在り様が記されている。

併せて、当園では平成 30 年度より毎年継続して、「人権研修」(各年度 3～4 回)を積み上げることで、前述の子どもに対してだけでなく、同僚間での関係性においても人権を踏まえた対応の在り方に力を入れている。

さらに、令和元年 11 月より継続している朝の職員ミーティング時、及び職員会議において「赤間保育園 虐待防止宣言」を唱和(現在は感染症防止対策として一人が音読し、残りの職員は目で追いながら黙読)する事、また時間差出勤の職員は、たとえ一人であっても保育室に入る前に、必ず職員室で音読して確認する事等を通して、自身への戒め、さらに日々の保育における人権の配慮への意識づけに努めている。また令和 4 年度は、職員間の相互尊重コミュニケーションスキルを高める知識の共有を図ることを目的に、株式会社「凛華社」による「接遇研修」を新たに導入した。

このような取り組みの中で、年に 2 回実施(上半期 9 月と下半期 3 月)、人権関連に特化した自己点検リスト「人権擁護、人権侵害の防止、及び性的虐待の防止の為に点検事項」を実施した。

(1) 人権関連に特化した自己点検リスト「人権擁護、人権侵害の防止、及び性的虐待の防止の為に点検事項」に関しては、令和 4 年度で 3 回目になるが、全体的に、高い自己評価(S もしくは A)となっており、C 若しくは B 評価はわずかであった。D 評価が付いた項目は無かった。

尚、5 段階自己評価基準は以下のとおり。

S: 充分理解した上で他者にも説明が出来る(できている)/常に出来る(出来ている)

A: ほぼ理解できる(できている)/ほぼできる(できている)

B: ある程度理解できる(できている)/半分程度できる(できている)

- C: ある程度理解できる（できている）/あまりできないが、他者の指示・指導があればできる（できている）
- D: 他者の説明で理解できる（できている）/他者の指示・指導のもとにできる（できている）

① B 及び C 評価がついた項目

「日頃の行動から、その子どもに対して先入観や偏見を持って判断しない」
「子どもの要求に対して速やかに対応出来ない時は、きちんと説明し理解を得るようにしている」

「自分の感情のままに子どもに接していない」

「子どもに対して、困難な言葉・表現を用いていない」

「子どもの自主性を尊重し安全を考慮した上で、見守る姿勢を持っている」

「職員の個人的な好みや考え方を子どもに押し付けていない」

「感情的になって大きな声で叱責したり、無視したり、強く子どもの腕などを引っ張ったりしていない」

「子どもの性被害防止を常に念頭に置き、子どもの行動変化（言動や相談）を見逃さない意識を持っている」

「個々の子どもの成長に合わせた保育・配慮した支援を行っている」

（2）B 及び C 評価がついた内容を見ていくと、人格否定、尊重、強要、及び性的虐待防止責務理解、といった項目に対して、意識を高め改善を図っていく必要がある。特に人格否定、尊重、強要といった項目に関しては、そのような子どもへの関わりに至らない為にも、日々の保育の工夫が大きな課題となり、保育の実践に必要な知識及び技術の習得、維持及び向上を図るための研修機会を設け自主的参加を促していくことが、改善に向かう一つの手立てと考えられる。

子どもへの関わりについては、常に「子どもの最善の利益」とは、どのようなことなのかを基準に考え関わっていくこと、併せて職員間での関わりについても、声掛けや動作、表情など相手に配慮した対応を行っていくことが重要である。平成 30 年度より継続している人権研修、また今年度初めて取り入れた接遇研修、そして引き続きクラス会議、主担会議、職員会議等で、啓発していくことを通して共通理解、及び認識を持たせていく。前述の「赤間保育園虐待防止宣」を保育室に入室する前に音読することで、人権に配慮した子どもへの関わりを意識づけていく。これらを通して、園児の在園時間に不適切な言動と見られる状況に遭遇、もしくはそのような状況になりそうな時は、躊躇せずにもまずその場で、クラ

ス担任同士、声を掛け合ってその状況を回避する、また注意し確認し合うことの出来る環境を目指す。

2. 職能別自己評価シートの自己評価について

- 調査代行の株式会社ポラリス 調査事業部からの3種（保育室・給食室・事務室）の職能別の自己評価シート、及び結果を添付する。

例年、園が作成した職能別（保育室・給食室・事務室）の自己評価を年2回実施している。その目的は、自己評価を通して、職員一人ひとりが自身の置かれた立場における仕事内容を点検し、現状を把握することで、成果や課題を明確にして業務にあたる事が出来るようにする為である。そして半年後に、また自己評価することで振り返り、成果を認めて、課題をはっきりさせて臨む、といった流れが確立していく為でもある。その積み重ねが、保育をはじめ、給食、事務、それぞれの分野における質の向上に繋がり、それは結果として「子どもの最善の利益」に反映されることであり、同時にそのことは、利用者の満足度にも繋がっていくことを踏まえて実施している。

令和元年度の行政監査の折に、「職員の自己評価を公表すること」が、指摘事項としてあげられたことから、自己評価を集計して可視化できる方法として、調査代行業者の自己評価シートを採用し、集計結果を公表することにした。令和2年度は職能分野「保育室」のみの自己評価結果公表であったが、令和3年度は、「保育室」に加えて、「給食室」と「事務室」の、二つの職能分野の自己評価結果も公表することになった。令和4年度は、令和3年度の形式を継続して実施した。

尚、自己評価基準は以下のとおり。

- | |
|---|
| A:他の職員に指導できる
B:自らの力でできる
C:指示されればできる
D:まだできていない |
|---|

(1) 「保育室」自己評価結果について

上半期・下半期ともに、即ち年間を通して、B評価を下回っていた項目は以下の4つであった。

11. 「遊具・玩具などの安全管理が行き届いた保育を行うことができる」
12. 「気になる子どもの保育、障がい児保育等について理解し、実践できる」
14. 「保護者に対する適切な支援とはどのようなものかを把握し実行できる」
15. 「指導計画などを適切に策定し実行に反映するなど、計画的な保育が実行できる」

上記 4 つの中で、大幅に B 評価を下回っていた項目は、15.であった。相対的に低い評価になっている理由として、何れも、主担任をはじめとする特定の職員だけが関わっているという実態があげられる。

保護者に対しては、クラス会議や、午睡の時間を利用して、クラス担任全員が、保護者が抱えている問題を理解し適切な支援の中身等を、共通認識を持って素早い対応を行うようしていくことが、評価を上げていく一つの策と考えられる。

保育計画作成や計画的な保育実行に関しては、実際、主担任をはじめとする限られた職員が作成している現状ではあるが、全体計画を踏まえて各クラスの年間計画があり、それを基に作成された月案、そしてその月案を基におりてくる週案、そこからの日々の保育内容であることの流れや意味、そして保育の中身を、クラス会議等でクラス担任間での周知を図り、計画的な保育を実践していくことの意識を高めていく。

(2) 「給食室」の自己評価結果について

上半期・下半期ともに、年間を通して、B 評価を下回っていた項目は以下の 3 つであった。

6. 理念・目指す子どもの姿に基づいた食育ができる
8. 食育に関する知識を仕事に活かすことができる
9. 食育に関する環境整備ができる

特に、9.に関しては C 評価を下回っていた。9.の小項目の内訳は以下である。

- 「植物に触れる機会を設け、命の尊さや大切さに気付かせる環境が準備できる」
- 「園外（散歩からクッキングに繋ぐ等）に出掛ける環境を沢山準備できる」
- 「身近な野菜に興味関心が持てるように、自ら率先して環境を準備出来る」

「畑作り等、子どもの為の環境下準備を同僚間で話し合い、協力してできる」
「畑作り等、子どもの見えないところで環境を継続的に維持する努力ができる」
「畑作り等、子どもたちと一緒に継続的に世話ができる」

いずれの項目も、「指示されれば出来る」、あるいは「まだできていない」、の評価が大半であった。

保育の中では、芋畑をつくり、苗を植え、芋苗の世話をし収穫する、収穫した芋を給食で提供する、といった一連の活動や、夏野菜づくりで、自ら育て収穫した野菜をクッキングする、といった活動も取り入れられていることから、保育室と給食室とが連携し、協同していく工夫をすることで、食育に関する環境整備が図られていくことが考えられる。

今年度はその試みの一つとして、職務分掌の部会の一つである食育部会が立ち上げられた。手探りの1年であったが、この経験を踏まえ、次年度はより活性化した部会としての動きが、保育室と給食室との連携を一層深めていくことを目指す。

(3) 「事務室」の自己評価結果

年間を通して9.「総務関係の業務を正しく理解し遂行できている」が、B評価を下回っている。9.項目の質問内容は、職員の入退社に関する手続き及び経歴書の変更、官公庁への提出・申請・報告に関する業務、リース・保守等の各種契約内容の把握等、その業務に携わる職員が限られていることもB評価を下回る原因の一つと言える。他の項目については、年間を通してB評価以上であった。

以 上

自己点検チェックリスト

人権擁護、人権侵害の防止、及び性的虐待の防止のための点検事項

職種.....クラス.....

氏名.....

*5段階評価

S：常にできる（できている）、充分理解した上で他者にも説明ができる（できている）

A：ほぼできる（できている）、ほぼ理解できる（できている）

B：半分程度できる（できている）、ある程度理解できる（できている）

C：あまりできないが、他者の指示・指導・説明があればできる（できている）

D：他者の指示・指導・説明のもとにできる（できている）

*自己点検期間

① 前期分 令和4年4月～令和4年9月（10月に実施）

10月に前期分の自己点検を行います。その時に記入して下さい。

② 後期分 令和4年10月～令和5年3月（3月に実施）

令和5年3月に後期分の自己点検を行います。その時に記入して下さい。

項目	具体的内容	前期	後期
プライバシー	1. 職務上、知り得た子どもの個人の情報を、他に一切もらしたことがない。		
	2. 個人的に子どもの写真や動画を保持しない。		
	3. ソーシャル・ネット・サービス（SNS）等に子どものプライバシーを書き込む（投稿する）ことはない。		

人格否定	4. 子どもの失敗を不必要に他児に伝えていない。		
	5. 子どもの人格を否定する言葉かけをしていない。		
	6. 克服困難なことを、一方的に子ども本人の責任にするような発言をしていない。		
	7. 子どもに対して困難な言葉・表現を用いていない。		
	8. 子どもに恐怖心を与えるような言葉かけをしていない。		
	9. 自分の感情のままに子どもに接していない。(大声で指示・叱責・罵倒・無視等していない。)		
	10. 日頃の行動から、その子どもに対して先入観や偏見を持って判断していない。		
	11. 不必要な懲罰はしていない。		
	12. 子どもの利益に反する限度を超えた行動制限、強要、放置はしていない。		
	13. 子どもの要求に対して、無視する等、わざと対応しないことなどはしていない。		
尊重	14. 子どもの要求に対して、速やかに対応出来ない時は、きちんと説明し理解を得るようにしている。		
	15. 子どもの持ち物は自己管理も含め大事にしている。		
	16. 個々の子どもの成長に合わせた保育・配慮した支援を行っている。		
	17. 子どもの自主性を尊重し安全を考慮した上で、見守る姿勢を持っている。		

強要	18. 本来、職員がなすべき事を、作業・訓練・指導と称し、子どもにさせていない。		
	19. 子どもや保護者・家族の意思を無視し、園側の都合を強要していない。		
	20. 子どもに過度な緊張や無理強いによる食事の指導を行っていない。		
	21. 排泄訓練という理由で、長時間無理やりトイレに座らせていない。		
	22. 子どもの状況によって罰を与えることはしていない。		
	23. 他児へ暴力を振るう子どもに対して体罰を与えたことはない。		
	24. 感情的になって大きな声で叱責したり、無視したり、子どもの腕などを強く引っ張ったりしていない。		
	性的虐待 防止 透明性の 確保	25. 誤解を生むような子どもの抱き方、触れ方、関わり方をしていない。	

	26. 園長や主任の承諾・許可を得ずに子どもと外出したり、園外や自宅等で会ったりしていない。		
性的虐待 防止 意識向上	27. 不必要・不用意に性的な話題で子ども・保護者・職員と会話をしていない。		
	28. 自分自身の下着が見えないように配慮し、過度な露出を抑える等、子ども・保護者・職員に刺激や不快感を与えないように身だしなみに留意している。		
性的虐待 防止 責務理解	29. 子どもの性被害防止を常に念頭に置き、子どもの行動変化（言動や相談）を見逃さない意識を持っている。		
	30. 子どもへの関わりの様子が、性的観点から不適切かつ不安を感じる職員を認知した場合には、それがいかなる役職の職員であっても、指摘や意見を行い、上司に報告・相談をする必要性を理解している。		
	31. 性的虐待を行った職員は、強制わいせつ罪等で逮捕されることを知っている。		

令和4年度 赤間保育園自己評価報告

評価期間 2022年4月1日 ~ 2022年9月30日

職員区分 保育士

参加人数 35名

評価 A~Dの4段階

A:他の職員に指導できる

B:自らの力のできる

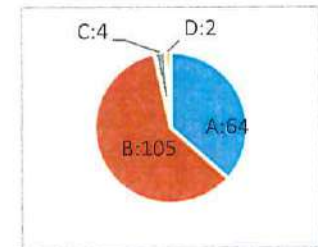
C:指示されればできる

D:まだできていない

1. 社会人として意識をもち、組織のあり方などについても良く理解できる

1. 保育に携わる者として適切な身なりをしているか
2. 時間前行動を心掛けているか
3. 健康であるように自己管理をしっかりとしているか
4. 休日や園外でも園の一員として自覚をもって行動しているか
5. 保育に携わる者にふさわしい行動をとることができているか

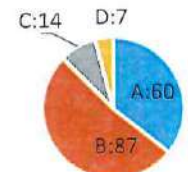
A	B	C	D
16	19	0	0
14	20	1	0
8	23	2	2
15	20	0	0
11	23	1	0
64	105	4	2



2. 書類提出期限の遵守や報告義務の遂行など、組織人の基本的対応ができる

1. 机の上、机の中やロッカーはいつも整理整頓され、必要な書類は常に分類整理されているか
2. 催促される前に報告しているか
3. ケガや事故などの悪いことでもスピーディに報告しているか
4. ゴミ拾い、拭き・掃き掃除などを進んで行っているか
5. 行事や研修などの報告書類は期限を守り、提出しているか

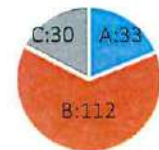
A	B	C	D
6	19	2	1
10	19	4	2
19	14	2	0
15	18	1	1
10	17	5	3
60	87	14	7



3. 職場内の意思疎通に配慮し、良好な人間関係の構築に努めることができる

1. 自分の考えや意見を周囲に分かりやすく伝えているか
2. 職場内で遠慮や気がねなく率直に話し合いをしているか
3. 相手からの指摘・アドバイスに耳を傾け、できることは行動に移しているか
4. 相手の思いを受け入れた上で、自分の思いを伝えているか
5. 仲間が困っているときに見過ごさずに声を掛けているか

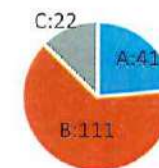
A	B	C	D
3	24	8	0
5	19	11	0
10	22	3	0
7	23	5	0
8	24	3	0
33	112	30	0



4. チームワークの重要性を理解して行動することができる

1. チームワークの重要性を正しく理解しているか
2. 仲間の変化に気付くことができるか
3. ありがとうの気持ちをもって常に行動しているか
4. 仕事をひとりで抱え込み過ぎていないか
5. 役割を果たすためにどのようにすべきかを考えて行動しているか

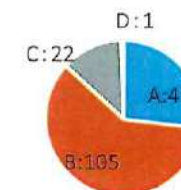
A	B	C	D
12	23	0	0
6	21	8	0
13	20	2	0
6	23	6	0
4	24	6	0
41	111	22	0



5. 職場内の課題に対し、自らが主体的に行動して問題解決に導くことができる

1. 保護者からの意見を尊重し、内容を把握した上で返答し、その内容について改善しているか
2. まわりの職員からの意見やアドバイスを素直に受けとめることができるか
3. 仕事がうまくいかないとき、人のせいにせず、まず自分で解決する努力をしているか
4. 気が付いた問題点は他の職員と共有するよう努めているか
5. 常に問題意識をもち、前向きに努力しているか

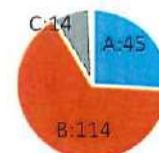
A	B	C	D
6	23	5	1
11	21	3	0
9	24	2	0
13	18	4	0
8	19	8	0
47	105	22	1



6. 子どもに対し、基本的な生活習慣の習得のための適切な支援ができる

1. 排泄のメカニズムや発達について理解しているか
2. 心地よく着脱できるように適切に介助できているか
3. 発達に合った生活リズムを理解しているか
4. 年齢や個々に応じた関わりで、生活習慣の自立への過程を理解し、関わっているか
5. 落ち着いた雰囲気を保ち、子どもが自分からしようとする気持ちを尊重し、進んで行えるよう理解しやすい言づかい(言葉掛け)や援助ができていますか

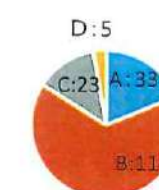
A	B	C	D
12	21	1	1
7	26	2	0
11	21	3	0
10	21	3	0
5	25	5	0
45	114	14	1



7. 子ども一人ひとりに対応できる保育を行うことができる

1. 子ども一人ひとりとコミュニケーションを取っているか
2. 子どもの個性を認めて関わっているか
3. 子どもから出るサインを見逃していないか
4. 一人ひとりの家庭環境や、心身の状況に配慮した関わりができていますか
5. 一人ひとりの子どもの声に常に耳を傾け、思いを十分に受け入れているか

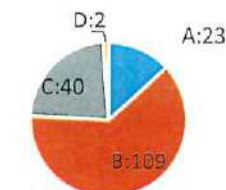
A	B	C	D
8	23	3	1
10	22	3	0
3	24	6	2
6	21	7	1
6	24	4	1
33	114	23	5



8. 子どもの発達、成長を理解した保育を行うことができる

1. 発達を見極め、年齢や興味にあった活動を取り入れているか
2. 五感に刺激を与えるような環境をつくっているか
3. 言葉の発達に応じた声掛けができていますか
4. おおむねの年齢に合わせた成長段階を理解しているか
5. 子どもの年齢に合った運動能力を把握し、保育に活かしているか

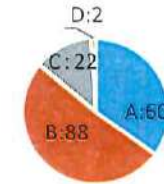
A	B	C	D
4	20	11	0
3	15	16	1
6	25	4	0
7	26	1	1
3	23	8	0
23	109	40	2



9. 健康管理やケガ防止などの、安全管理に関する行動ができる

1. 朝の視診を行いながら子どもに合わせた対応をし、保護者を安心させて送り出すことができているか
2. 子どもの様子に異常が見られたときは先輩や看護師に相談するなど適切な処置ができているか
3. 健康診断の結果を子どもに関係する他の職員と共有しているか
4. 一人ひとりの子どもの発育状態やアレルギーの有無などを把握しているか
5. SIDSについて理解し正しくチェックできているか

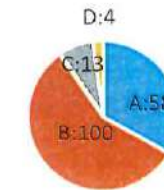
A	B	C	D
12	18	4	1
17	17	1	0
5	20	9	0
11	18	5	0
15	15	3	1
60	88	22	2



10. 集団感染防止のために必要な対策を熟知し、行動に反映できる

1. 正しい手順を踏んで手洗いをしているか
2. 感染症というものを理解し、仕事に反映しているか
3. 病気やケガが発生したとき、適切な判断及び処置ができているか
4. 子どもになぜ手洗い・うがいが必要なのかを伝えているか
5. 子どもの具合が悪いとき、保護者に症状を伝え、適切な対応がとれているか

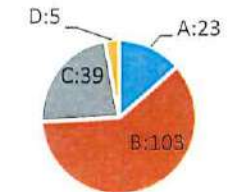
A	B	C	D
16	18	0	1
10	22	3	0
9	19	6	1
11	21	1	2
12	20	3	0
58	100	13	4



11. 遊具・玩具などの安全管理が行き届いた保育を行うことができる

1. 園舎内外に危険な物や不審な点がないかの確認を1日1回は行えているか
2. 年齢別発達特徴を捉え、安全な環境設定ができているか
3. ケガにつながった状況を把握し、再び起こらないよう改善策をとっているか
4. 玩具・用具などの破損や修理は、適切に処理されているか
5. “ヒヤリ・ハット事例書”などを活用し、常に問題意識をもち、事故防止のための環境改善に努めているか

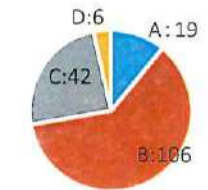
A	B	C	D
2	16	12	4
4	19	11	0
5	24	5	0
7	21	5	1
5	23	6	0
23	103	39	5



12. 気になる子どもの保育、障がい児保育などについて理解し、実践できる

1. 気になる子どもと周囲の子どもが、互いの良さを感じ取られるように心を配っているか
2. 気になる子の保護者と話し合う場などを日常的に設け、保護者への支援を心掛けているか
3. 書物を読んだり、研修会に参加したり、先輩に相談するなど積極的に学ぼうと努めているか
4. 身体的虐待や不適切な養育の発見に努めているか
5. 職員間の共通理解のもと、適切に援助ができているか

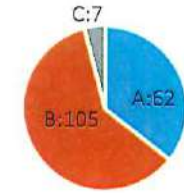
A	B	C	D
4	25	5	1
2	16	11	5
3	20	12	0
7	22	5	0
3	23	9	0
19	106	42	6



13. 保護者との間で、適切なコミュニケーションを行うことができる

1. 伝達は、専門用語を使わず分かりやすい言葉を使っているか
2. どの保護者にも笑顔で敬語を使って話し、平等に接しているか
3. 成長に対する喜びや期待を高められるように、今の子どもの姿を具体的に保護者に伝えているか
4. 保護者の気持ちを素直に受けとめているか
5. プライバシーに配慮した対応ができているか

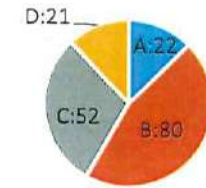
A	B	C	D
11	21	3	0
17	18	0	0
10	22	2	0
9	25	1	0
15	19	1	0
62	105	7	0



14. 保護者に対する適切な支援とはどのようなものを把握し、実行できる

1. 家庭や育児の状況や問題点などを理解しながら対応できているか
2. 情報を提供するなどして、個別指導できているか
3. 子育て支援について理解しているか
4. 支援の取り組みについて、園内、地域の人に働き掛けをしているか
5. 子育てや就労を支えるために保護者の気持ちに配慮しながら接しているか

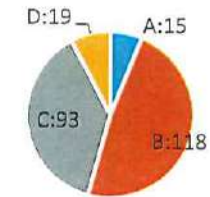
A	B	C	D
4	21	9	1
5	11	14	5
7	18	8	2
1	6	19	9
5	24	2	4
22	80	52	21



15. 指導計画などを適切に策定し実行に反映するなど、計画的な保育が実践できる

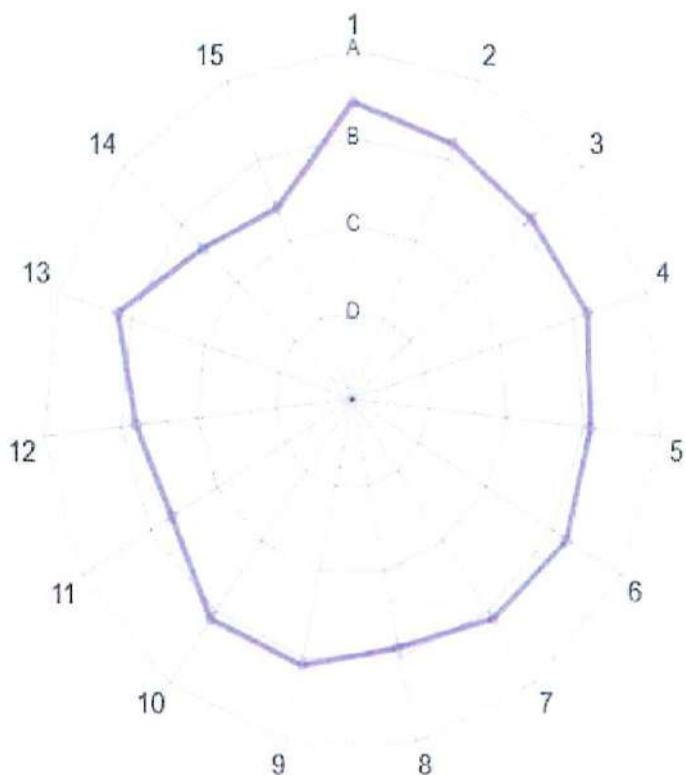
1. 見直しをもって保育に取り組み、必要な教材などをねらいに応じて考えたり、事前に準備できているか
2. 年齢別保育、異年齢保育の中で育つもの、大切にしたいことなどを理解し、保育できているか
3. 子どもの姿、興味・関心に基づいて計画を立て、見直し、次の計画に活かすことができているか
4. 自分の担当年齢だけではなく、園に在籍する間の発達過程を考慮し、保育にあたることができているか
5. 保育課程・教育課程に基づいて各種書類の作成ができているか
6. 指導計画は保育課程・教育課程に基づき、子どもの生活や発達を見直し、保護者の意向が反映されるべきであることを理解しているか
7. 保育の計画や保育の記録を通して日々、自らの保育実践を振り返り、自己評価しているか

A	B	C	D
0	19	16	0
2	19	13	1
2	16	14	3
3	19	9	4
1	12	17	5
6	13	14	2
1	20	10	4
15	118	93	19



各職能基準毎の結果

20



1. 社会人として意識をもち、組織のあり方などについても良く理解できる
2. 書類提出期限の遵守や報告義務の遂行など、組織人の基本的対応ができる
3. 職場内の意思疎通に配慮し、良好な人間関係の構築に努めることができる
4. チームワークの重要性を理解して行動することができる
5. 職場内の課題に対し、自らが主体的に行動して問題解決に導くことができる
6. 子どもに対し、基本的生活習慣の習得のための適切な支援ができる
7. 子ども一人ひとりに対応できる保育を行うことができる
8. 子どもの発達、成長を理解した保育を行うことができる
9. 健康管理やケガ防止などの、安全管理に関する行動ができる
10. 集団感染防止のために必要な対策を熟知し、行動に反映できる
11. 遊具・玩具などの安全管理が行き届いた保育を行うことができる
12. 気になる子どもの保育、障がい児保育などについて理解し、実践できる
13. 保護者との間で、適切なコミュニケーションを行うことができる
14. 保護者に対する適切な支援とはどのようなものかを把握し、実行できる
15. 指導計画などを適切に策定し実行に反映するなど、計画的な保育が実践できる

令和4年度 赤間保育園自己評価報告

評価期間 2022年10月1日 ~ 2023年3月31日

職員区分 保育士

参加人数 35名

評価 A~Dの4段階

A:他の職員に指導できる

B:自らの力のできる

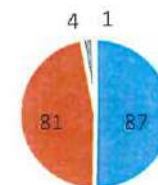
C:指示されればできる

D:まだできていない

1. 社会人として意識をもち、組織のあり方などについても良く理解できる

1. 保育に携わる者として適切な身なりをしているか
2. 時間前行動を心掛けているか
3. 健康であるように自己管理をしっかりとしているか
4. 休日や園外でも園の一員として自覚をもって行動しているか
5. 保育に携わる者にふさわしい行動をとることができているか

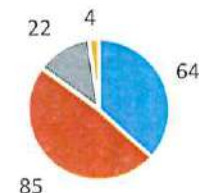
A	B	C	D
22	13	0	0
16	19	0	0
16	14	4	1
18	17	0	0
15	18	0	0
87	81	4	1



2. 書類提出期限の遵守や報告義務の遂行など、組織人の基本的対応ができる

1. 机の上、机の中やロッカーはいつも整理整頓され、必要な書類は常に分類整理されているか
2. 催促される前に報告しているか
3. ケガや事故などの悪いことでもスピーディに報告しているか
4. ゴミ拾い、拭き・掃き掃除などを進んで行っているか
5. 行事や研修などの報告書類は期限を守り、提出しているか

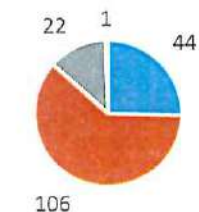
A	B	C	D
7	20	7	1
11	19	4	1
19	15	1	0
15	17	3	0
12	14	7	2
64	85	22	4



3. 職場内の意思疎通に配慮し、良好な人間関係の構築に努めることができる

1. 自分の考えや意見を周囲に分かりやすく伝えているか
2. 職場内で遠慮や気がねなく率直に話し合いをしているか
3. 相手からの指摘・アドバイスに耳を傾け、できることは行動に移しているか
4. 相手の思いを受け入れた上で、自分の思いを伝えているか
5. 仲間が困っているときに見過ごさずに声を掛けているか

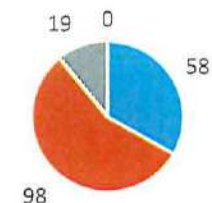
A	B	C	D
6	23	5	1
9	21	5	0
10	22	3	0
10	19	5	0
9	21	4	0
44	106	22	1



4. チームワークの重要性を理解して行動することができる

1. チームワークの重要性を正しく理解しているか
2. 仲間の変化に気付くことができるか
3. ありがとうの気持ちをもって常に行動しているか
4. 仕事をひとりで抱え込み過ぎていないか
5. 役割を果たすためにどのようにすべきかを考えて行動しているか

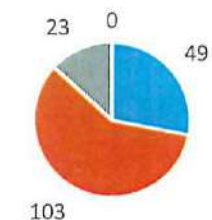
A	B	C	D
15	19	1	0
6	22	7	0
19	16	0	0
10	18	7	0
8	23	4	0
58	98	19	0



5. 職場内の課題に対し、自らが主体的に行動して問題解決に導くことができる

1. 保護者からの意見を尊重し、内容を把握した上で返答し、その内容について改善しているか
2. まわりの職員からの意見やアドバイスを素直に受けとめることができるか
3. 仕事がうまくいかないとき、人のせいにせず、まず自分で解決する努力をしているか
4. 気が付いた問題点は他の職員と共有するよう努めているか
5. 常に問題意識をもち、前向きに努力しているか

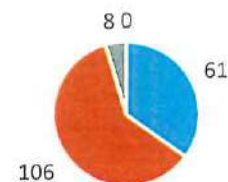
A	B	C	D
7	22	6	0
14	18	3	0
10	20	5	0
11	20	4	0
7	23	5	0
49	103	23	0



6. 子どもに対し、基本的な生活習慣の習得のための適切な支援ができる

1. 排泄のメカニズムや発達について理解しているか
2. 心地よく着脱できるように適切に介助できているか
3. 発達に合った生活リズムを理解しているか
4. 年齢や個々に応じた関わりで、生活習慣の自立への過程を理解し、関わっているか
5. 落ち着いた雰囲気を保ち、子どもが自分からしようとする気持ちを尊重し、進んで行えるよう理解しやすい言づかい(言葉掛け)や援助ができているか

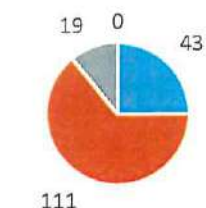
A	B	C	D
11	23	1	0
15	19	1	0
15	18	2	0
12	21	2	0
8	25	2	0
61	106	8	0



7. 子ども一人ひとりに対応できる保育を行うことができる

1. 子ども一人ひとりとコミュニケーションを取っているか
2. 子どもの個性を認めて関わっているか
3. 子どもから出るサインを見逃していないか
4. 一人ひとりの家庭環境や、心身の状況に配慮した関わりができているか
5. 一人ひとりの子どもの声に常に耳を傾け、思いを十分に受け入れているか

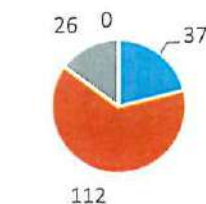
A	B	C	D
11	23	1	0
10	21	4	0
5	26	4	0
7	21	7	0
10	20	3	0
43	111	19	0



8. 子どもの発達、成長を理解した保育を行うことができる

1. 発達を見極め、年齢や興味にあった活動を取り入れているか
2. 五感に刺激を与えるような環境をつくっているか
3. 言葉の発達に応じた声掛けができているか
4. おおむねの年齢に合わせた成長段階を理解しているか
5. 子どもの年齢に合った運動能力を把握し、保育に活かしているか

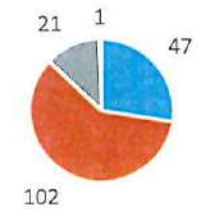
A	B	C	D
7	22	6	0
3	20	12	0
12	23	0	0
9	25	1	0
6	22	7	0
37	112	26	0



9. 健康管理やケガ防止などの、安全管理に関する行動ができる

1. 朝の視診を行いながら子どもに合わせた対応をし、保護者を安心させて送り出すことができるか
2. 子どもの様子に異常が見られたときは先輩や看護師に相談するなど適切な処置ができているか
3. 健康診断の結果を子どもに関係する他の職員と共有しているか
4. 一人ひとりの子どもの発育状態やアレルギーの有無などを把握しているか
5. SIDSについて理解し正しくチェックできているか

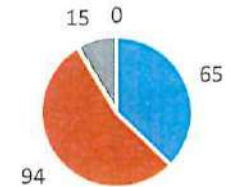
A	B	C	D
9	24	2	0
12	22	0	0
6	17	12	0
11	20	4	0
9	19	3	1
47	102	21	1



10. 集団感染防止のために必要な対策を熟知し、行動に反映できる

1. 正しい手順を踏んで手洗いをしているか
2. 感染症というものを理解し、仕事に反映しているか
3. 病気やケガが発生したとき、適切な判断及び処置ができているか
4. 子どもになぜ手洗い・うがいが必要なのかを伝えているか
5. 子どもの具合が悪いとき、保護者に症状を伝え、適切な対応がとれているか

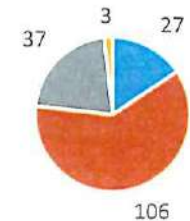
A	B	C	D
17	18	0	0
16	19	0	0
8	21	6	0
14	19	2	0
10	17	7	0
65	94	15	0



11. 遊具・玩具などの安全管理が行き届いた保育を行うことができる

1. 園舎内外に危険な物や不審な点がないかの確認を1日1回は行えているか
2. 年齢別発達特徴を捉え、安全な環境設定ができているか
3. ケガにつながった状況を把握し、再び起こらないよう改善策をとっているか
4. 玩具・用具などの破損や修理は、適切に処理されているか
5. “ヒヤリ・ハット事例書”などを活用し、常に問題意識をもち、事故防止のための環境改善に努めているか

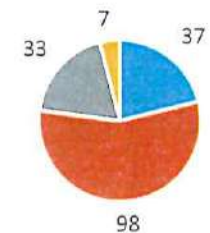
A	B	C	D
2	17	14	2
5	21	8	0
8	21	6	0
6	23	6	0
6	24	3	1
27	106	37	3



12. 気になる子どもの保育、障がい児保育などについて理解し、実践できる

1. 気になる子どもと周囲の子どもが、互いの良さを感じ取られるように心を配っているか
2. 気になる子の保護者と話し合う場などを日常的に設け、保護者への支援を心掛けているか
3. 書物を読んだり、研修会に参加したり、先輩に相談するなど積極的に学ぼうと努めているか
4. 身体的虐待や不適切な養育の発見に努めているか
5. 職員間の共通理解のもと、適切に援助ができているか

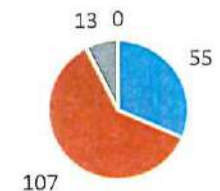
A	B	C	D
9	23	2	1
5	16	9	5
4	19	11	1
9	22	4	0
10	18	7	0
37	98	33	7



13. 保護者との間で、適切なコミュニケーションを行うことができる

1. 伝達は、専門用語を使わず分かりやすい言葉を使っているか
2. どの保護者にも笑顔で敬語を使って話し、平等に接しているか
3. 成長に対する喜びや期待を高められるように、今の子どもの姿を具体的に保護者に伝えているか
4. 保護者の気持ちを素直に受けとめているか
5. プライバシーに配慮した対応ができているか

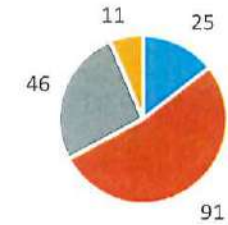
A	B	C	D
10	21	4	0
14	20	1	0
9	24	2	0
9	23	3	0
13	19	3	0
55	107	13	0



14. 保護者に対する適切な支援とはどのようなものを把握し、実行できる

1. 家庭や育児の状況や問題点などを理解しながら対応できているか
2. 情報を提供するなどして、個別指導できているか
3. 子育て支援について理解しているか
4. 支援の取り組みについて、園内、地域の人に働き掛けをしているか
5. 子育てや就労を支えるために保護者の気持ちに配慮しながら接しているか

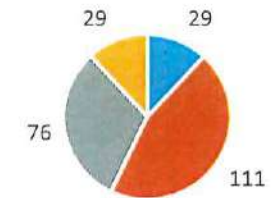
	A	B	C	D
1	5	21	9	0
2	6	15	11	3
3	6	21	6	1
4	2	13	15	5
5	6	21	5	2
計	25	91	46	11



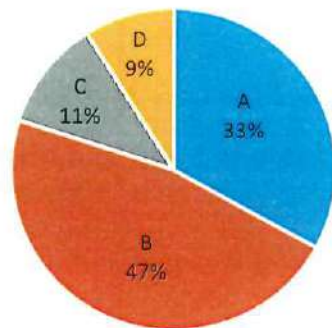
15. 指導計画などを適切に策定し実行に反映するなど、計画的な保育が実践できる

1. 見通しをもって保育に取り組み、必要な教材などをねらいに応じて考えたり、事前に準備できているか
2. 年齢別保育、異年齢保育の中で育つもの、大切にしたいことなどを理解し、保育できているか
3. 子どもの姿、興味・関心に基づいて計画を立て、見直し、次の計画に活かすことができているか
4. 自分の担当年齢だけでなく、園に在籍する間の発達過程を考慮し、保育にあたることができているか
5. 保育課程・教育課程に基づいて各種書類の作成ができているか
6. 指導計画は保育課程・教育課程に基づき、子どもの生活や発達を見通し、保護者の意向が反映されるべきであることを理解しているか
7. 保育の計画や保育の記録を通して日々、自らの保育実践を振り返り、自己評価しているか

	A	B	C	D
1	2	16	15	2
2	6	19	8	2
3	5	14	11	5
4	4	14	14	3
5	3	10	14	8
6	6	19	6	4
7	3	19	8	5
計	29	111	76	29



赤間保育園職員自己評価

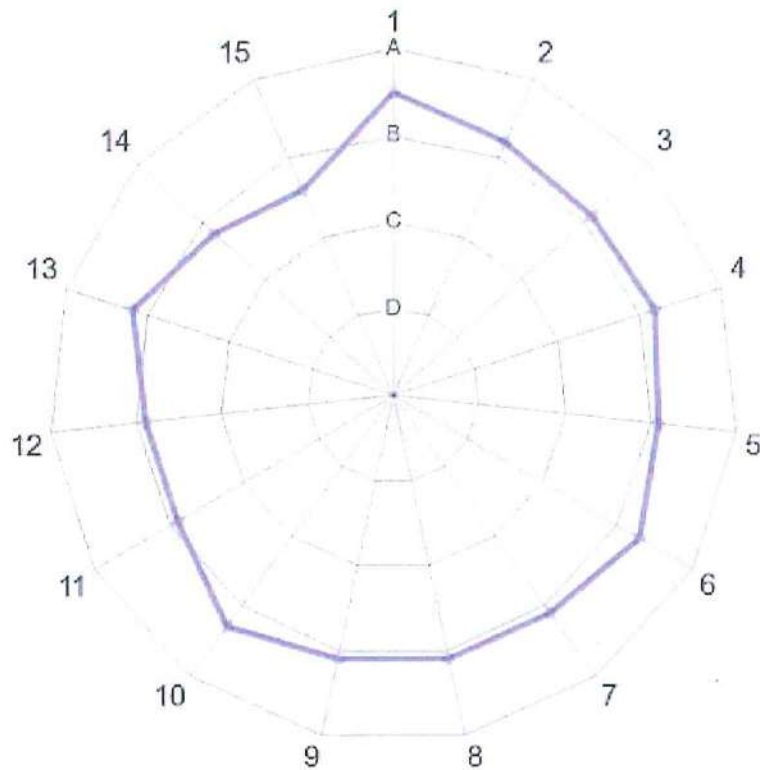


評価はA～Dの4段階

- A: 他の職員に指導できる
- B: 自らの力のできる
- C: 指示されればできる
- D: まだできていない

	A	B	C	D
1	87	81	4	1
2	64	85	22	4
3	44	106	22	1
4	58	98	19	0
5	49	103	23	0
6	61	106	8	0
7	43	111	19	0
8	37	112	26	0
9	47	102	21	1
10	65	94	15	0
11	27	106	37	3
12	37	98	33	7
13	55	107	13	0
14	25	91	46	11
15	36	111	76	29
計	735	1511	384	57
%	33	47	11	9

各職能基準毎の結果



1. 社会人として意識をもち、組織のあり方などについても良く理解できる
2. 書類提出期限の遵守や報告義務の遂行など、組織人の基本的対応ができる
3. 職場内の意思疎通に配慮し、良好な人間関係の構築に努めることができる
4. チームワークの重要性を理解して行動することができる
5. 職場内の課題に対し、自らが主体的に行動して問題解決に導くことができる
6. 子どもに対し、基本的生活習慣の習得のための適切な支援ができる
7. 子ども一人ひとりに対応できる保育を行うことができる
8. 子どもの発達、成長を理解した保育を行うことができる
9. 健康管理やケガ防止などの、安全管理に関する行動ができる
10. 集団感染防止のために必要な対策を熟知し、行動に反映できる
11. 遊具・玩具などの安全管理が行き届いた保育を行うことができる
12. 気になる子どもの保育、障がい児保育などについて理解し、実践できる
13. 保護者との間で、適切なコミュニケーションを行うことができる
14. 保護者に対する適切な支援とはどのようなものかを把握し、実行できる
15. 指導計画などを適切に策定し実行に反映するなど、計画的な保育が実践できる

令和4年度 赤間保育園自己評価報告

評価期間 2022年4月1日 ～ 2022年9月30日

職員区分 給食室

参加人数 8名

評価 A～Dの4段階

A:他の職員に指導できる

B:自らの力のできる

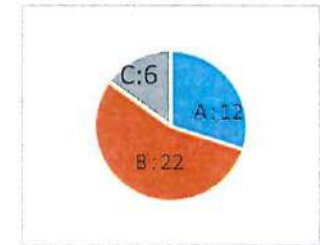
C:指示されればできる

D:まだできていない

1. 社会人として意識をもち、組織のあり方などについても良く理解できる

1. 保育に携わる者として適切な身なりをしているか
2. 時間前行動を心掛けているか
3. 健康であるように自己管理をしっかりとしているか
4. 休日や園外でも園の一員として自覚をもって行動しているか
5. 保育に携わる者にふさわしい行動をとることができているか

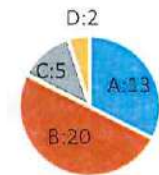
A	B	C	D
3	4	1	0
4	4	0	0
3	3	2	0
1	6	1	0
1	5	2	0
12	22	6	0



2. 書類提出期限の遵守や報告義務の遂行など、組織人の基本的対応ができる

1. 机の上、机の中やロッカーはいつも整理整頓され、必要な書類は常に分類整理されているか
2. 催促される前に報告しているか
3. ケガや事故などの悪いことでもスピーディに報告しているか
4. ゴミ拾い、拭き・掃き掃除などを進んで行っているか
5. 行事や研修などの報告書類は期限を守り、提出しているか

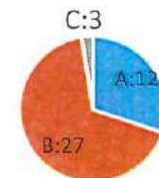
A	B	C	D
1	4	2	1
1	6	0	1
5	3	0	0
2	4	2	0
4	3	1	0
13	20	5	2



3. 職場内の意思疎通に配慮し、良好な人間関係の構築に努めることができる

1. 自分の考えや意見を周囲に分かりやすく伝えているか
2. 職場内で遠慮や気がねなく率直に話し合いをしているか
3. 相手からの指摘・アドバイスに耳を傾け、できることは行動に移しているか
4. 相手の思いを受け入れた上で、自分の思いを伝えているか
5. 仲間が困っているときに見過ごさずに声を掛けているか

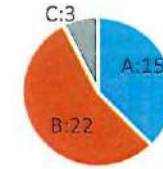
A	B	C	D
3	4	1	0
2	6	0	0
3	5	0	0
2	6	0	0
2	6	0	0
12	27	1	0



4. チームワークの重要性を理解して行動することができる

1. チームワークの重要性を正しく理解しているか
2. 仲間の変化に気付くことができるか
3. ありがとうの気持ちをもって常に行動しているか
4. 仕事をひとりで抱え込み過ぎていないか
5. 役割を果たすためにどのようにすべきかを考えて行動しているか

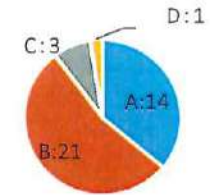
A	B	C	D
5	3	0	0
1	6	1	0
5	3	0	0
1	6	1	0
3	4	1	0
15	22	3	0



5. 職場内の課題に対し、自らが主体的に行動して問題解決に導くことができる

1. 保護者からの意見を尊重し、内容を把握した上で返答し、その内容について改善しているか
2. まわりの職員からの意見やアドバイスを素直に受けとめることができるか
3. 仕事がうまくいかないとき、人のせいにならず、まず自分で解決する努力をしているか
4. 気が付いた問題点は他の職員と共有するよう努めているか
5. 常に問題意識をもち、前向きに努力しているか

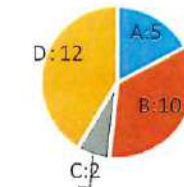
A	B	C	D
1	3	2	1
3	5	0	0
3	5	0	0
3	5	0	0
4	3	1	0
14	21	3	1



6. 理念・目指す子どもに基づいた食育ができる

1. 保育理念・保育方針を具体化した食育計画を立てることができる
2. 年齢の子どもの成長発達に応じた食育計画を立てることができる
3. 食育実践を記録して課題を明確にし、次の保育に繋ぐことができる
4. 子どもと一緒に食事をとり、マナーや感謝の気持ちを伝えることができる

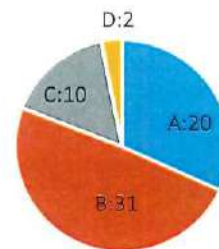
A	B	C	D
1	1	1	4
1	2	0	4
2	2	0	3
1	5	1	1
5	10	2	12



7. 調理に関する基本的スキルを習得し、調理業務を行うことができる

1. 栄養素・カロリーなど食物に関する基礎知識を習得し、仕事に活かすことができる
2. 材料の準備・加工・盛り付け等に要求されるスピードを身につけている
3. 調理器具の洗浄・食器の洗浄と片付け等の業務を時間内に迅速に進めることができる
4. 大規模調理に必要な技術がある
5. 清潔な調理環境を保つことができる
6. 調理マニュアルの内容を習得し、正しい職務遂行ができる
7. 調理室の衛生管理マニュアルの内容を習得し、正しい職務遂行ができる
8. 食物アレルギーマニュアルの内容を熟知し、正しい職務遂行ができる

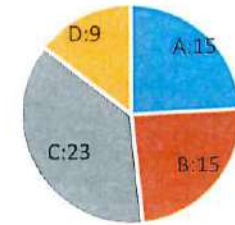
A	B	C	D
3	1	1	2
2	5	1	0
3	5	0	0
3	2	3	0
3	4	1	0
2	4	2	0
2	6	0	0
2	4	2	0
20	31	10	2



8. 食育に関する知識を仕事に活かすことができる

1. アレルギーに関する知識を持ち、楽しく食べられるような提案や工夫ができる
2. 食中毒に関する知識を習得し、手の消毒等の適切な感染防止行動を取ることができる
3. 子どもたちの食事の様子を想像し、楽しく食べられるような提案や工夫ができる
4. 食事関係の行動に積極的に関与し、その成果に関心を持ち、行動することができる
5. 食事や職域に関して、保育士への助言・指摘ができる
6. 仕入れの管理を行い、献立や栄養管理等ができる
7. 必要があれば、保護者との直接のコミュニケーションを持つことができる
8. 保護者が期待する給食のあり方を常に考え、創意工夫しながら対処することができる

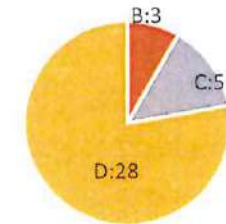
A	B	C	D
2	2	4	0
3	3	2	0
2	3	2	1
4	2	2	0
1	1	6	0
1	2	1	3
1	1	3	2
1	1	3	3
15	15	23	9



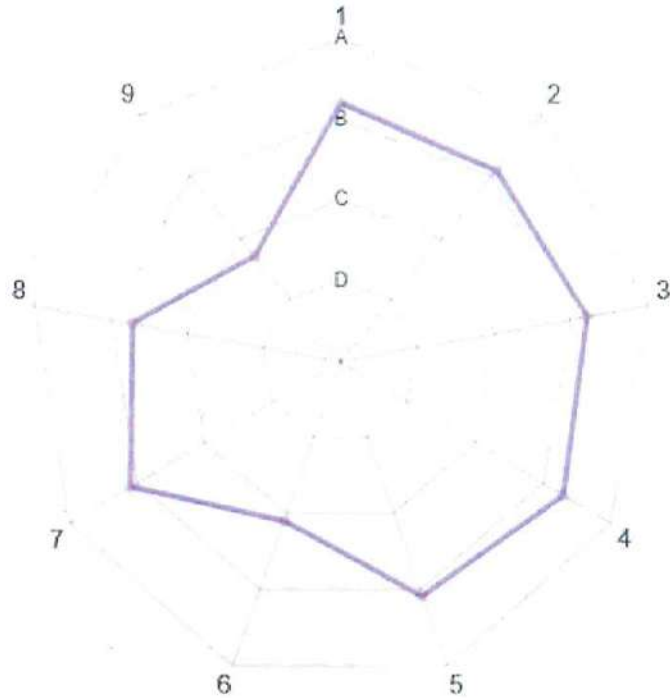
9. 食育に関する環境整備ができる

1. 植物に触れる機会を設け、命の尊さや大切さに気付かせる環境が準備できる
2. 園外(散歩からクッキングに繋ぐ等)に出掛ける環境を沢山準備できる
3. 身近な野菜に興味関心が持てるように、自ら率先して環境を準備できる
4. 畑づくり等、子どもの為の環境下準備を同僚間で話し合い、協力してできる
5. 畑づくり等、子どもの見えないところで環境を継続的に維持する努力ができる
6. 畑づくり等、子どもたちと一緒に継続的に世話ができる

A	B	C	D
1	1	1	4
1	1	0	5
1	1	1	4
1	0	1	5
1	0	1	5
1	0	1	5
6	3	5	28



各職能基準毎の結果



1. 社会人として意識をもち、組織のあり方などについても良く理解できる
2. 書類提出期限の遵守や報告義務の遂行など、組織人の基本的対応ができる
3. 職場内の意思疎通に配慮し、良好な人間関係の構築に努めることができる
4. チームワークの重要性を理解して行動することができる
5. 職場内の課題に対し、自らが主体的に行動して問題解決に導くことができる
6. 理念・目指す子どもの姿に基づいた食育ができる
7. 調理に関する基本的スキルを習得し、調理業務を行うことができる
8. 食育に関する知識を仕事に活かすことができる
9. 食育に関する環境整備ができる

令和4年度 赤間保育園自己評価報告

評価期間 2022年10月1日 ～ 2023年3月31日

職員区分 給食室

参加人数 8名

評価 A～Dの4段階

A: 他の職員に指導できる

B: 自らの力のできる

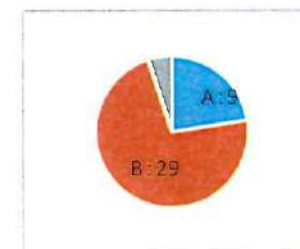
C: 指示されればできる

D: まだできていない

1. 社会人として意識をもち、組織のあり方などについても良く理解できる

1. 保育に携わる者として適切な身なりをしているか
2. 時間前行動を心掛けているか
3. 健康であるように自己管理をしっかりとしているか
4. 休日や園外でも園の一員として自覚をもって行動しているか
5. 保育に携わる者にふさわしい行動をとることができているか

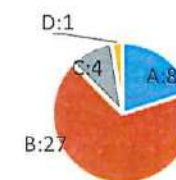
A	B	C	D
2	6	0	0
1	7	0	0
2	6	0	0
2	5	1	0
2	5	1	0
9	29	2	0



2. 書類提出期限の遵守や報告義務の遂行など、組織人の基本的対応ができる

1. 机の上、机の中やロッカーはいつも整理整頓され、必要な書類は常に分類整理されているか
2. 催促される前に報告しているか
3. ケガや事故などの悪いことでもスピーディに報告しているか
4. ゴミ拾い、拭き・掃き掃除などを進んで行っているか
5. 行事や研修などの報告書類は期限を守り、提出しているか

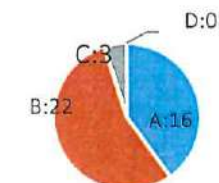
A	B	C	D
1	6	0	1
1	6	1	0
4	4	0	0
2	5	1	0
0	6	2	0
8	27	4	1



3. 職場内の意思疎通に配慮し、良好な人間関係の構築に努めることができる

1. 自分の考えや意見を周囲に分かりやすく伝えているか
2. 職場内で遠慮や気がねなく率直に話し合いをしているか
3. 相手からの指摘・アドバイスに耳を傾け、できることは行動に移しているか
4. 相手の思いを受け入れた上で、自分の思いを伝えているか
5. 仲間が困っているときに見過ごさずに声を掛けているか

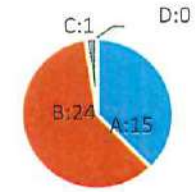
A	B	C	D
2	5	1	0
3	4	1	0
5	3	0	0
2	6	0	0
4	4	0	0
16	22	2	0



4. チームワークの重要性を理解して行動することができる

1. チームワークの重要性を正しく理解しているか
2. 仲間の変化に気付くことができるか
3. ありがとうの気持ちをもって常に行動しているか
4. 仕事をひとりで抱え込み過ぎていないか
5. 役割を果たすためにどのようにすべきかを考えて行動しているか

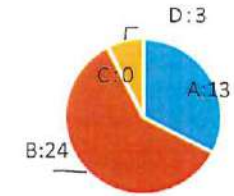
A	B	C	D
4	4	0	0
1	7	0	0
6	2	0	0
1	6	1	0
3	5	0	0
15	24	1	0



5. 職場内の課題に対し、自らが主体的に行動して問題解決に導くことができる

1. 保護者からの意見を尊重し、内容を把握した上で返答し、その内容について改善しているか
2. まわりの職員からの意見やアドバイスを素直に受けとめることができるか
3. 仕事がうまくいかないとき、人のせいにならず、まず自分で解決する努力をしているか
4. 気が付いた問題点は他の職員と共有するよう努めているか
5. 常に問題意識をもち、前向きに努力しているか

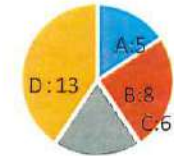
A	B	C	D
0	5	0	3
4	4	0	0
4	4	0	0
2	6	0	0
3	5	0	0
13	24	0	3



6. 理念・目指す子どもに基づいた食育ができる

1. 保育理念・保育方針を具体化した食育計画を立てることができる
2. 年齢の子どもの成長発達に応じた食育計画を立てることができる
3. 食育実践を記録して課題を明確にし、次の保育に繋ぐことができる
4. 子どもと一緒に食事をとり、マナーや感謝の気持ちを伝えることができる

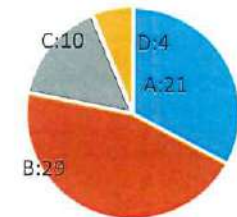
A	B	C	D
1	2	2	3
1	2	1	4
1	2	3	2
2	2	0	4
5	8	6	13



7. 調理に関する基本的スキルを習得し、調理業務を行うことができる

1. 栄養素・カロリーなど食物に関する基礎知識を習得し、仕事に活かすことができる
2. 材料の準備・加工・盛り付け等に要求されるスピードを身につけている
3. 調理器具の洗浄・食器の洗浄と片付け等の業務を時間内に迅速に進めることができる
4. 大規模調理に必要な技術がある
5. 清潔な調理環境を保つことができる
6. 調理マニュアルの内容を習得し、正しい職務遂行ができる
7. 調理室の衛生管理マニュアルの内容を習得し、正しい職務遂行ができる
8. 食物アレルギーマニュアルの内容を熟知し、正しい職務遂行ができる

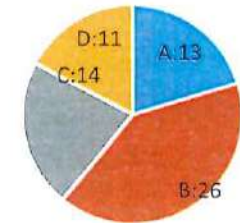
A	B	C	D
2	1	2	3
2	6	0	0
2	5	1	0
3	3	2	0
3	4	1	0
4	3	1	0
3	4	1	0
2	3	2	1
21	29	10	4



8. 食育に関する知識を仕事に活かすことができる

1. アレルギーに関する知識を持ち、楽しく食べられるような提案や工夫ができる
2. 食中毒に関する知識を習得し、手の消毒等の適切な感染防止行動を取ることができる
3. 子どもたちの食事の様子を想像し、楽しく食べられるような提案や工夫ができる
4. 食事関係の行動に積極的に関与し、その成果に関心を持ち、行動することができる
5. 食事や職域に関して、保育士への助言・指摘ができる
6. 仕入れの管理を行い、献立や栄養管理等ができる
7. 必要があれば、保護者との直接のコミュニケーションを持つことができる
8. 保護者が期待する給食のあり方を常に考え、創意工夫しながら対処することができる

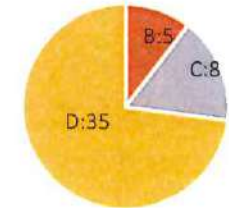
A	B	C	D
2	2	3	1
2	4	2	0
2	5	1	0
2	4	2	0
1	2	4	1
1	3	0	4
2	2	1	3
1	4	1	2
13	26	14	11



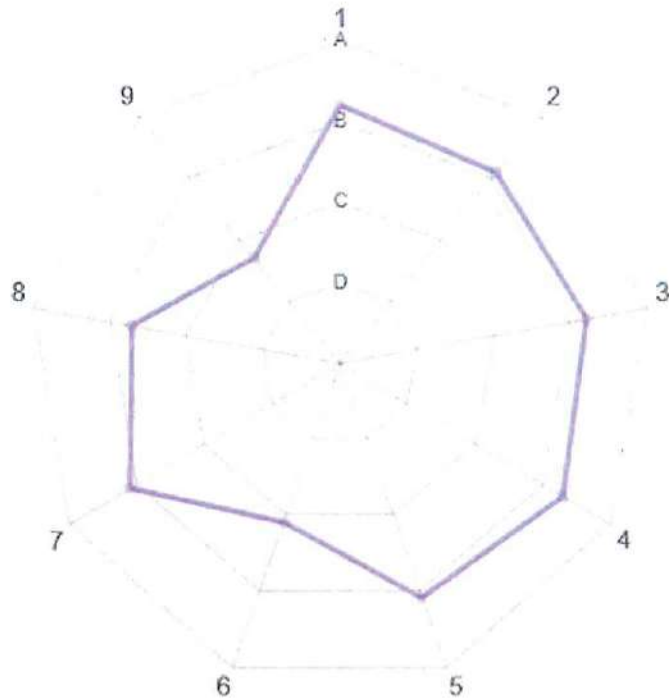
9. 食育に関する環境整備ができる

1. 植物に触れる機会を設け、命の尊さや大切さに気付かせる環境が準備できる
2. 園外(散歩からクッキングに繋ぐ等)に出掛ける環境を沢山準備できる
3. 身近な野菜に興味関心が持てるように、自ら率先して環境を準備できる
4. 畑づくり等、子どもの為の環境下準備を同僚間で話し合い、協力してできる
5. 畑づくり等、子どもの見えないところで環境を継続的に維持する努力ができる
6. 畑づくり等、子どもたちと一緒に継続的に世話ができる

A	B	C	D
0	2	1	5
0	1	1	6
0	1	1	6
0	0	2	6
0	1	1	6
0	0	2	6
0	5	8	35



各職能基準毎の結果



1. 社会人として意識をもち、組織のあり方などについても良く理解できる
2. 書類提出期限の遵守や報告義務の遂行など、組織人の基本的対応ができる
3. 職場内の意思疎通に配慮し、良好な人間関係の構築に努めることができる
4. チームワークの重要性を理解して行動することができる
5. 職場内の課題に対し、自らが主体的に行動して問題解決に導くことができる
6. 理念・目指す子どもの姿に基づいた食育ができる
7. 調理に関する基本的スキルを習得し、調理業務を行うことができる
8. 食育に関する知識を仕事に活かすことができる
9. 食育に関する環境整備ができる

令和4年度 赤間保育園自己評価報告

評価期間 2022年4月1日 ～ 2022年9月30日

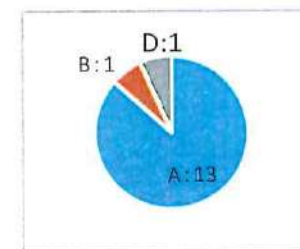
職員区分 事務室職員 参加人数 3名

評価 A～Dの4段階 A:他の職員に指導できる B:自らの力のできる C:指示されればできる D:まだできていない

1. 社会人として意識をもち、組織のあり方などについても良く理解できる

1. 保育に携わる者として適切な身なりをしているか
2. 時間前行動を心掛けているか
3. 健康であるように自己管理をしっかりとしているか
4. 休日や園外でも園の一員として自覚をもって行動しているか
5. 保育に携わる者にふさわしい行動をとることができているか

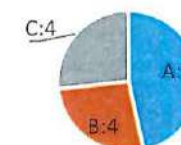
	A	B	C	D
1	2	0	1	0
2	2	1	0	0
3	3	0	0	0
4	3	0	0	0
5	3	0	0	0
合計	13	1	1	0



2. 書類提出期限の遵守や報告義務の遂行など、組織人の基本的対応ができる

1. 机の上、机の中やロッカーはいつも整理整頓され、必要な書類は常に分類整理されているか
2. 催促される前に報告しているか
3. ケガや事故などの悪いことでもスピーディに報告しているか
4. ゴミ拾い、拭き・掃き掃除などを進んで行っているか
5. 行事や研修などの報告書類は期限を守り、提出しているか

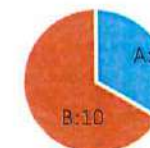
	A	B	C	D
1	1	1	1	0
2	2	1	0	0
3	3	0	0	0
4	0	2	1	0
5	1	0	2	0
合計	7	4	4	0



3. 職場内の意思疎通に配慮し、良好な人間関係の構築に努めることができる

1. 自分の考えや意見を周囲に分かりやすく伝えているか
2. 職場内で遠慮や気がねなく率直に話し合いをしているか
3. 相手からの指摘・アドバイスに耳を傾け、できることは行動に移しているか
4. 相手の思いを受け入れた上で、自分の思いを伝えているか
5. 仲間が困っているときに見過ごさずに声を掛けているか

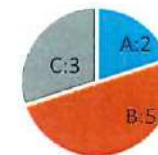
	A	B	C	D
1	1	2	0	0
2	1	2	0	0
3	2	1	0	0
4	1	2	0	0
5	0	3	0	0
合計	5	10	0	0



4. チームワークの重要性を理解して行動することができる

1. チームワークの重要性を正しく理解しているか
2. 仲間の変化に気付くことができるか
3. ありがとうの気持ちをもって常に行動しているか
4. 仕事をひとりで抱え込み過ぎていないか
5. 役割を果たすためにどのようにすべきかを考えて行動しているか

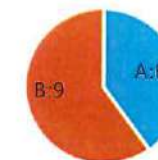
A	B	C	D
1	1	0	0
0	0	2	0
1	1	0	0
0	1	1	0
0	2	0	0
2	5	3	0



5. 職場内の課題に対し、自らが主体的に行動して問題解決に導くことができる

1. 保護者からの意見を尊重し、内容を把握した上で返答し、その内容について改善しているか
2. まわりの職員からの意見やアドバイスを素直に受けとめることができるか
3. 仕事がうまくいかないとき、人のせいにせず、まず自分で解決する努力をしているか
4. 気が付いた問題点は他の職員と共有するよう努めているか
5. 常に問題意識をもち、前向きに努力しているか

A	B	C	D
2	1	0	0
2	1	0	0
2	1	0	0
0	3	0	0
0	3	0	0
6	9	0	0



6. 事務職における基本事項が遂行できる

1. 職員からの質問に対し、親切丁寧に優しく対応ができる
2. 他部署にも関心を持ち、進んでコミュニケーションをとり、応援要請には快く対応できる
3. 指示された仕事の結果報告を必ず行い、処理が長引く仕事については、中間報告を行う等の配慮がで
4. 誰が見てもわかりやすい資料を作成できる
5. 提出物等の締め切り期限を守ることができる
6. PCの基本ソフト(Word, Excel等)のスキルがあり、コピー機等のOA機器の操作ができる
7. 園長・副園長・主任・副主任の下で園務・事務の補佐ができる

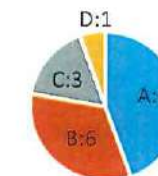
A	B	C	D
2	1	0	0
1	2	0	0
2	1	0	0
2	1	0	0
1	0	2	0
3	0	0	0
1	2	0	0
12	7	2	0



7. 環境に関する事項が遂行できる

1. デスクをはじめ、自分の持ち場を整理整頓し、常に清潔かつ美しい状態を維持している
2. 事務所内に保管された文章の把握ができ、必要に応じて取り出すことができる
3. 使ったものを元の位置に戻すことができる
4. 施設内のごみ、汚れに気が付いて自主的に掃除をしたり、園内外の管理を定期的に行うことができている
5. 建造物及び付属施設を日常的に点検し、異常を発見できるようにしている
6. 業者への依頼が必要な場合には、施設長に相談の上、早急な対応を行っている

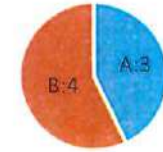
A	B	C	D
1	1	1	0
2	0	1	0
2	1	0	0
0	2	1	0
0	2	0	1
3	0	0	0
8	6	3	1



8. 経理関係の業務を正しく遂行できている

1. 経理業務全般について理解し、ミスなく処理ができている
2. 伝票等と融合して正確な現金出納を行い日々の現金照合業務を正確かつ迅速に行うことができる
3. 給料入力のための準備が正確にでき、業務内容を理解し、期限を守っている
4. 書類関係及び証憑等は、速やかにファイル及び整理を行い、期限を守ることができる

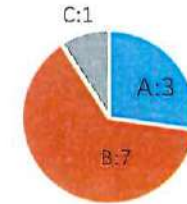
A	B	C	D
0	2	0	0
1	1	0	0
1	0	0	0
1	1	0	0
3	4	0	0



9. 総務関係の業務を正しく遂行できている

1. 職員の入退社に関する手続きを適確に行い、自己経歴書の変更がある職員に対して適確な対応をとることができる
2. 諸規定の内容把握ができ、それに基づき業務を滞りなく遂行できている
3. 法改正の情報収集を行っている
4. 法改正等の情報を基に規定の改廃や書式の改定等を速やかに行っている
5. 官公庁への提出・申請・報告に関する業務知識があり、提出期限を守り、ミスなく遂行できる
6. リース・保守等の各種契約内容について把握し、しっかり管理ができている

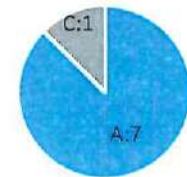
A	B	C	D
0	1	0	0
0	1	1	0
1	1	0	0
1	1	0	0
0	2	0	0
1	1	0	0
3	7	1	0



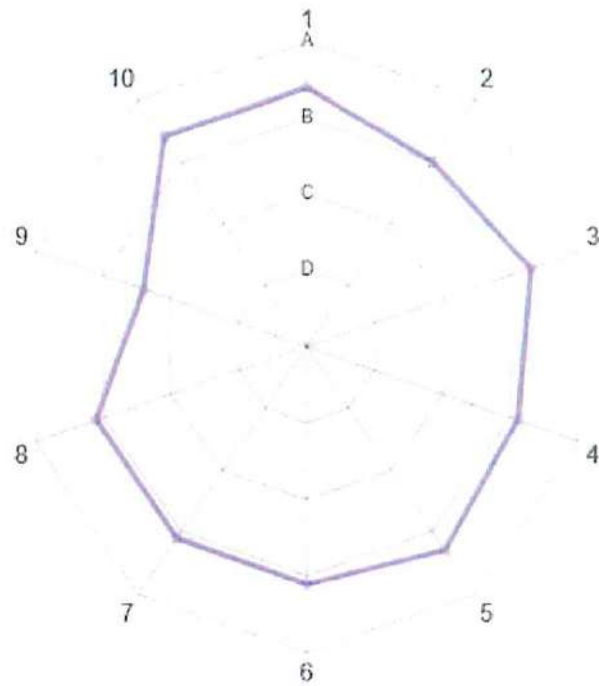
10. 危機管理に関する業務を遂行できる

1. 安全管理マニュアルの内容を把握し、日頃から意識してリスク回避に努めている
2. 預かったお金等は、その場で金額をチェックし、紛失しないよう直ぐに机や金庫等に保管し、7日以内に金融機関に預け入れている
3. 個人情報記載された資料やデータ、貴重な書類やデータの取り扱いに注意し、安全に保管している（特に席を外す時に、人目につかないよう配慮する等）
4. 個人情報に基づく書類等、速やかにファイリングができている

A	B	C	D
1	0	1	0
2	0	0	0
2	0	0	0
2	0	0	0
7	0	1	0



各職能基準毎の結果



1. 社会人として意識をもち、組織のあり方などについても良く理解できる
2. 書類提出期限の遵守や報告義務の遂行など、組織人の基本的対応ができる
3. 職場内の意思疎通に配慮し、良好な人間関係の構築に努めることができる
4. チームワークの重要性を理解して行動することができる
5. 職場内の課題に対し、自らが主体的に行動して問題解決に導くことができる
6. 事務職における基本事項が遂行できる
7. 環境に関する事項が遂行できる
8. 経理関係の業務を正しく遂行できている
9. 総務関係の業務を正しく遂行できている
10. 危機管理に関する業務を遂行できる

令和4年度 赤間保育園自己評価報告

評価期間 2022年10月1日 ~ 2023年3月31日

職員区分 事務室職員

参加人数 4名

評価 A~Dの4段階

A:他の職員に指導できる

B:自らの力のできる

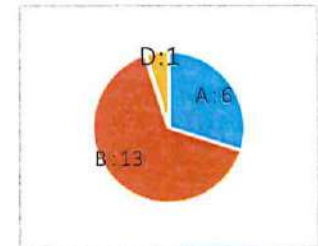
C:指示されればできる

D:まだできていない

1. 社会人として意識をもち、組織のあり方などについても良く理解できる

1. 保育に携わる者として適切な身なりをしているか
2. 時間前行動を心掛けているか
3. 健康であるように自己管理をしっかりとしているか
4. 休日や園外でも園の一員として自覚をもって行動しているか
5. 保育に携わる者にふさわしい行動をとることができているか

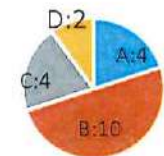
	A	B	C	D
1	1	3	0	0
2	2	2	0	0
3	1	2	0	1
4	1	3	0	0
5	1	3	0	0
合計	6	13	0	1



2. 書類提出期限の遵守や報告義務の遂行など、組織人の基本的対応ができる

1. 机の上、机の中やロッカーはいつも整理整頓され、必要な書類は常に分類整理されているか
2. 催促される前に報告しているか
3. ケガや事故などの悪いことでもスピーディに報告しているか
4. ゴミ拾い、拭き・掃き掃除などを進んで行っているか
5. 行事や研修などの報告書類は期限を守り、提出しているか

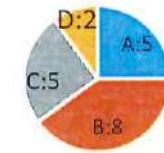
	A	B	C	D
1	1	2	1	0
2	0	3	0	1
3	2	2	0	0
4	1	2	1	0
5	0	1	2	1
合計	4	10	4	2



3. 職場内の意思疎通に配慮し、良好な人間関係の構築に努めることができる

1. 自分の考えや意見を周囲に分かりやすく伝えているか
2. 職場内で遠慮や気がねなく率直に話し合いをしているか
3. 相手からの指摘・アドバイスに耳を傾け、できることは行動に移しているか
4. 相手の思いを受け入れた上で、自分の思いを伝えているか
5. 仲間が困っているときに見過ごさずに声を掛けているか

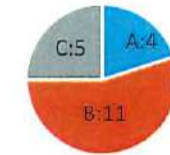
	A	B	C	D
1	2	0	1	1
2	1	1	1	1
3	0	3	1	0
4	0	2	2	0
5	2	2	0	0
合計	5	8	5	2



4. チームワークの重要性を理解して行動することができる

1. チームワークの重要性を正しく理解しているか
2. 仲間の変化に気付くことができるか
3. ありがとうの気持ちをもって常に行動しているか
4. 仕事をひとりで抱え込み過ぎていないか
5. 役割を果たすためにどのようにすべきかを考えて行動しているか

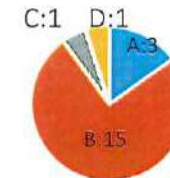
A	B	C	D
1	3	0	0
0	2	2	0
1	3	0	0
0	2	2	0
2	1	1	0
4	11	5	0



5. 職場内の課題に対し、自らが主体的に行動して問題解決に導くことができる

1. 保護者からの意見を尊重し、内容を把握した上で返答し、その内容について改善しているか
2. まわりの職員からの意見やアドバイスを素直に受けとめることができるか
3. 仕事がうまくいかないとき、人のせいにならず、まず自分で解決する努力をしているか
4. 気が付いた問題点は他の職員と共有するよう努めているか
5. 常に問題意識をもち、前向きに努力しているか

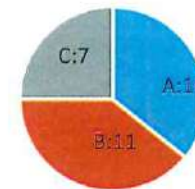
A	B	C	D
0	3	0	1
0	4	0	0
1	3	0	0
1	3	0	0
1	2	1	0
3	15	1	1



6. 事務職における基本事項が遂行できる

1. 職員からの質問に対し、親切丁寧に優しく対応ができる
2. 他部署にも関心を持ち、進んでコミュニケーションをとり、応援要請には快く対応できる
3. 指示された仕事の結果報告を必ず行い、処理が長引く仕事については、中間報告を行う等の配慮ができる
4. 誰が見てもわかりやすい資料を作成できる
5. 提出物等の締め切り期限を守ることができる
6. PCの基本ソフト(Word、Excel等)のスキルがあり、コピー機等のOA機器の操作ができる
7. 園長・副園長・主任・副主任の下で園務・事務の補佐ができる

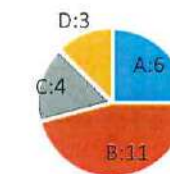
A	B	C	D
2	1	1	0
0	3	1	0
1	2	1	0
2	1	1	0
1	2	1	0
3	0	1	0
1	2	1	0
10	11	7	0



7. 環境に関する事項が遂行できる

1. デスクをはじめ、自分の持ち場を整理整頓し、常に清潔かつ美しい状態を維持している
2. 事務所内に保管された文章の把握ができ、必要に応じて取り出すことができる
3. 使ったものを元の位置に戻すことができる
4. 施設内のごみ、汚れに気が付いて自主的に掃除をしたり、園内外の管理を定期的に行うことができる
5. 建造物及び付属施設を日常的に点検し、異常を発見できるようにしている
6. 業者への依頼が必要な場合には、施設長に相談の上、早急な対応を行っている

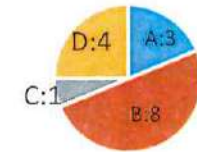
A	B	C	D
1	1	2	0
1	2	0	1
2	2	0	0
0	3	1	0
0	2	1	1
2	1	0	1
6	11	4	3



8. 経理関係の業務を正しく遂行できている

1. 経理業務全般について理解し、ミスなく処理ができている
2. 伝票等と融合して正確な現金出納を行い日々の現金照合業務を正確かつ迅速に行うことができる
3. 給料入力のための準備が正確にでき、業務内容を理解し、期限を守っている
4. 書類関係及び証憑等は、速やかにファイル及び整理を行い、期限を守ることができる

A	B	C	D
0	3	0	1
1	2	0	1
1	1	0	2
1	2	1	0
3	8	1	4



9. 総務関係の業務を正しく遂行できている

1. 職員の入退社に関する手続きを適確に行い、自己経歴書の変更がある職員に対して適確な対応をとることができる
2. 諸規定の内容把握ができており、それに基づき業務を滞りなく遂行できている
3. 法改正の情報収集を行っている
4. 法改正等の情報を基に規定の改廃や書式の改定等を速やかに行っている
5. 官公庁への提出・申請・報告に関する業務知識があり、提出期限を守り、ミスなく遂行できる
6. リース・保守等の各種契約内容について把握し、しっかり管理ができている

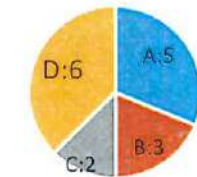
A	B	C	D
1	0	0	3
0	2	0	2
0	2	0	2
0	0	2	2
1	0	1	2
0	2	0	2
2	6	3	13



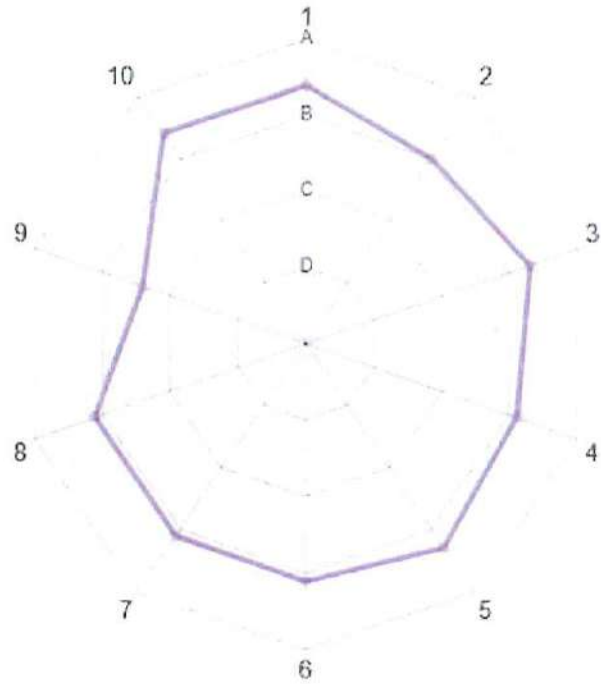
10. 危機管理に関する業務を遂行できる

1. 安全管理マニュアルの内容を把握し、日頃から意識してリスク回避に努めている
2. 預かったお金等は、その場で金額をチェックし、紛失しないよう直ぐに机や金庫等に保管し、7日以内に金融機関に預け入れている
3. 個人情報記載された資料やデータ、貴重な書類やデータの取り扱いに注意し、安全に保管している（特に席を外す時に、人目につかないよう配慮する等）
4. 個人情報に基づく書類等、速やかにファイリングができている

A	B	C	D
0	1	2	1
2	0	0	2
2	1	0	1
1	1	0	2
5	3	2	6



各職能基準毎の結果



1. 社会人として意識をもち、組織のあり方などについても良く理解できる
2. 書類提出期限の遵守や報告義務の遂行など、組織人の基本的対応ができる
3. 職場内の意思疎通に配慮し、良好な人間関係の構築に努めることができる
4. チームワークの重要性を理解して行動することができる
5. 職場内の課題に対し、自らが主体的に行動して問題解決に導くことができる
6. 事務職における基本事項が遂行できる
7. 環境に関する事項が遂行できる
8. 経理関係の業務を正しく遂行できている
9. 総務関係の業務を正しく遂行できている
10. 危機管理に関する業務を遂行できる

赤間保育園 利用者(保護者)アンケート結果について

2023年2月1日～2月15日実施

○目的

- ・ 現行の保育内容や行事のあり方等について保護者にアンケートを実施することで、保育の質の向上を目指す。

○方法

- ・ 下記の6項目について、「十分にできている」「ある程度できている」「あまりできていない」「できていない」の4段階でアンケートを実施した。
 - ・ 子ども施設の基本方針について
 - ・ 職員について
 - ・ 保育環境について
 - ・ 食事について
 - ・ 健康管理・安全管理・感染症予防について
 - ・ コミュニケーションについて
 - ・ その他

○総合評価

- ・ 3.65ポイント(満点4)
- ※ どの項目についても、「十分にできている」「ある程度できている」と答えた保護者が9割以上で、高い評価をいただいた。
- ※ 特に「職員」についての総合評価は、「十分にできている」「ある程度できている」と答えた保護者がほぼ全員だった。

○ご意見、ご要望とそれに対する改善

- ・ 人数が多いので普段どんな感じで過ごしているかを毎日みることができないので 他の保育園のように 写真をアプリなどに載せて見れるようにしてほしいです。
- ・ コロナ禍で園の行事が少なく、園の中にも入れない期間が長かったので、もっと新しい形で園での様子を伝えてほしい。ルクミーで写真を載せたり、掲示物を増やしたりしてほしい。先生たちとのコミュニケーションも減り、園での子どもたちの姿がわからなくなった。
 - ※ 写真の掲示については、アプリを使う方法等を現在検討中です。玄関に設置しているモニターを活用して情報をお知らせしていく予定にしています。
 - ※ 現在は、送迎の際保護者の方々に園内に入らせていただいているので、担任から子どもたちの様子をお聞きください。
- ・ 来年度は年長なので、小学校体育で必要になってくる縄跳びや鉄棒(逆上がり)を外遊びの時に積極的に取り入れてもらえるとありがたいなと思います。
 - ※ 保育計画に縄跳び遊びや鉄棒遊び、跳び箱遊び等を設定して、現在取り組んでいます。
- ・ まだ預けていない下の子供を抱っこ紐で抱っこしたまま靴を履かせるのが大変なので、にこにこ

ハウスの方にも椅子を設置するなどして欲しい。

※ ご指摘を受けて、現在は椅子を設置しております。

- 18:00 前、残っている園児が 2 歳児クラスのお部屋にいる際、お迎えに行くとトイレの様子が丸見えになっていることがあります。オムツをはかずにトイレから出てきている子やオムツのままお部屋に戻ってきている子もいて気になります。小さな子どもですが、プライベートゾーンには配慮が必要だと思うので改善してほしいです。

※ 子どもたちのプライバシー保護については、周知をしていましたが、改善されていない面がありました。申し訳ございません。オムツの交換は、必ずトイレ内で行うように徹底させていただきます。

- いつも、子供の事を丁寧に見て頂いて、色々な遊びを経験させて貰ってありがたく思っています。強いて言うなら、コロナ対応や昨今の情勢から先生方の業務量が増えすぎて、余裕が無さそうな感じが時々します。その為少しでも、仕組みや機器等で先生方の業務改善に繋がるものがあれば、採用頂きたいです。

※ 職員の業務に対する温かいお言葉、ありがとうございます。IT 機器等を使って、効率よくできるものは改善していきたいと思います。

- 法律上しかたないし難しいと思いますがもっと先生が増えたら良いと思います。いろいろなこどもがいますし、行事やコンサート、面談などで先生たちが忙しすぎて大変そうです。お預けする側からしたら、申し分ありませんが、いろいろ完璧すぎて大変だろうと想像します。お体を大切にされてください。いつもありがとうございます。

※ 職員へのお気遣い、ありがとうございます。職員配置については、国の基準以上の人員確保はできています。

社会福祉法人 赤間福社会

赤間保育園

利用者アンケート集計結果

43

調査期間	2023.02.01～2023.02.15
配布人数	248
有効回収数	109
回収率	44%

【調査代行】

株式会社ポラリス 調査事業部



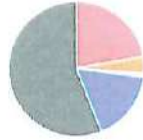
〒920-0855 石川県金沢市武蔵町1-16 CROSS武蔵町5B

TEL 076-216-761 FAX 076-216-7616

こども施設の基本方針について

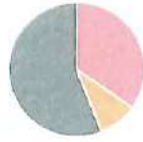
1. 入園の際、園の目標や方針について十分な説明がありましたか。
 ※昨年度以前に入園している場合は「該当しない」を選択してください。

- 十分な説明があった (55人)
- ある程度の説明があった (10人)
- あまりなかった (1人)
- なかった (1人)
- 該当しない (42人)
- 未回答 (139人)



3. 普段の教育・保育内容は、目標や方針と一致していますか。

- 一致している (86人)
- やや一致している (23人)
- あまり一致していない (0人)
- 一致していない (0人)
- 未回答 (139人)



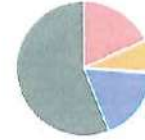
5. 管理者（園長・副園長等）がしっかりと職員をまとめ、率先して運営にあたっていると感じますか。

- 十分に感じる (79人)
- ある程度感じる (23人)
- あまり感じない (7人)
- 感じない (0人)
- 未回答 (139人)



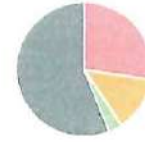
2. 入園の際、経費や必要な持ち物について十分な説明がありましたか。
 ※昨年度以前に入園している場合は「該当しない」を選択してください。

- 十分な説明があった (45人)
- ある程度の説明があった (19人)
- あまりなかった (1人)
- なかった (0人)
- 該当しない (44人)
- 未回答 (139人)



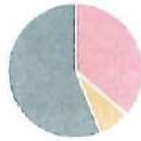
4. 年度当初に、年間の取り組みや行事について適切な情報の提供、あるいは十分な説明などがありましたか。

- 十分にあった (68人)
- ある程度あった (33人)
- あまりなかった (8人)
- なかった (0人)
- 未回答 (139人)



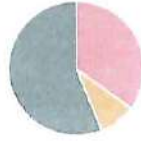
6. 職員の身なり（服装・髪型・清潔感）や言葉遣いは適切だと感じますか。

- 十分に感じる (90人)
- ある程度感じる (19人)
- あまり感じない (0人)
- 感じない (0人)
- 未回答 (139人)



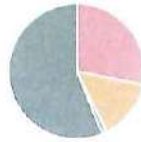
8. 職員は園内の整理整頓に気を配り、快適な空間づくりに努めていると感じますか。

- 十分に感じる (87人)
- ある程度感じる (22人)
- あまり感じない (0人)
- 感じない (0人)
- 未回答 (139人)



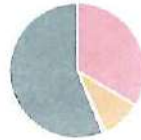
10. 皆さまからの意見や要望に対する説明や対応は適切だと感じますか。

- 十分に感じる (70人)
- ある程度感じる (36人)
- あまり感じない (3人)
- 感じない (0人)
- 未回答 (139人)



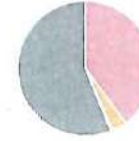
12. 園長や職員による子どもたちへの言葉がけは、お子さまが心地良いと感じられるものだと思いますか。

- 十分に思う (83人)
- ある程度思う (24人)
- あまり思わない (2人)
- 思わない (0人)
- 未回答 (139人)



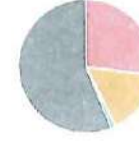
7. 職員は誰に対しても明るい笑顔やあいさつを行っていますか。

- 常に行っている (69人)
- 時々行っている (9人)
- あまり行っていない (1人)
- 行っていない (0人)
- 未回答 (139人)



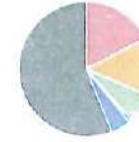
9. 職員同士のチームワークや雰囲気はよいと感じますか。

- 十分に感じる (67人)
- ある程度感じる (39人)
- あまり感じない (3人)
- 感じない (0人)
- 未回答 (139人)



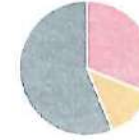
11. 担当外の職員に連絡を頼んだところ、伝達されていなかったということがありましたか。
※連絡を頼んだことがない方は「該当しない」を選択してください。

- まったくない (43人)
- あまりない (35人)
- たまにある (17人)
- よくある (2人)
- 該当しない (12人)
- 未回答 (139人)



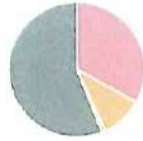
13. 職員は、子育ての専門家として頼りになると感じますか。

- 十分に感じる (77人)
- ある程度感じる (32人)
- あまり感じない (0人)
- 感じない (0人)
- 未回答 (139人)



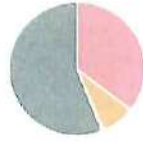
14. 睡眠・排泄・衣類の着脱など、お子さまの基本的な生活習慣の確立ができていますと感じますか。

- 十分に感じる (82人)
- ある程度感じる (25人)
- あまり感じない (2人)
- 感じない (0人)
- 未回答 (139人)



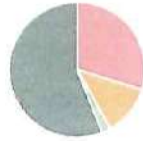
16. お子さまの成長（トイレ、食事など）に合わせて園と保護者がお互いに協力しながら子育てに取り組んでいると感じますか。

- 十分に感じる (68人)
- ある程度感じる (20人)
- あまり感じない (0人)
- 感じない (1人)
- 未回答 (139人)



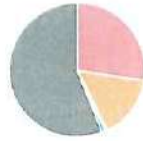
18. お子さまの興味、関心に応じて自由に遊びを選べる工夫がされていると思いますか。

- 十分に思う (74人)
- ある程度思う (30人)
- あまり思わない (5人)
- 思わない (0人)
- 未回答 (139人)



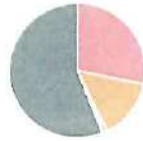
20. お子さまは喜んで登園していると感じますか。

- 十分に感じる (68人)
- ある程度感じる (38人)
- あまり感じない (1人)
- 感じない (2人)
- 未回答 (139人)



22. お子さま一人ひとりの家庭環境や個人差を把握した対応ができていますと感じますか。

- 十分に感じる (70人)
- ある程度感じる (36人)
- あまり感じない (2人)
- 感じない (1人)
- 未回答 (139人)



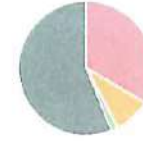
24. お子さまが身近な自然と関わったり、季節を感じる工夫がされていると感じますか。

- 十分に感じる (76人)
- ある程度感じる (33人)
- あまり感じない (0人)
- 感じない (0人)
- 未回答 (139人)



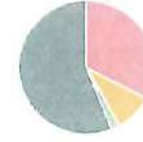
15. 園内の採光・換気・温度・湿度などは適切に保たれていると感じますか。

- 十分に感じる (83人)
- ある程度感じる (22人)
- あまり感じない (4人)
- 感じない (0人)
- 未回答 (139人)



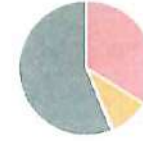
17. 職員は一人ひとりのお子さまの個性を見極めて関わっていると感じますか。

- 十分に感じる (81人)
- ある程度感じる (23人)
- あまり感じない (5人)
- 感じない (0人)
- 未回答 (139人)



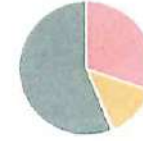
19. お子さまの発達状況に合った無理のない運動遊びがされていると感じますか。

- 十分に感じる (84人)
- ある程度感じる (24人)
- あまり感じない (1人)
- 感じない (0人)
- 未回答 (139人)



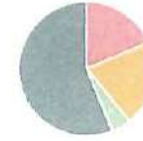
21. 園生活での友だちとの関わりなど、お子さまの人と関わる力の育ちに満足していますか。

- 十分満足している (75人)
- ある程度満足している (33人)
- あまり満足していない (1人)
- 満足していない (0人)
- 未回答 (139人)



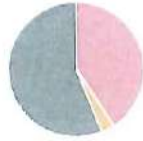
23. 地域の人たちとコミュニケーションがとれるような行事や取り組みが積極的に行われていますか。

- 十分に感じる (46人)
- ある程度感じる (51人)
- あまり感じない (11人)
- 感じない (1人)
- 未回答 (139人)



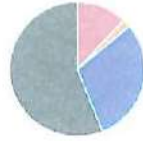
25. 献立表やサンプル表示などで、毎日の食事とおやつの内容がわかるようになっていきますか。
※給食、おやつを提供のない場合は「該当しない」を選択ください。

- 内容が十分わかる (101人)
- 内容がある程度わかる (8人)
- 内容があまりわからない (0人)
- 内容がわからない (0人)
- 該当しない (0人)
- 未回答 (139人)



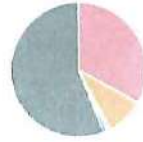
27. 食物アレルギーを持つお子さまに対して適切な配慮がされていると感じますか。
※食物アレルギーをお持ちでない場合は「該当しない」を選択してください。

- 十分に感じる (30人)
- ある程度感じる (5人)
- あまり感じない (0人)
- 感じない (0人)
- 該当しない (74人)
- 未回答 (139人)



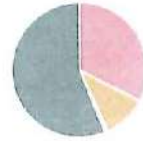
29. お子さまは給食、おやつメニューには満足していますか。
※給食、おやつを提供のない場合は「該当しない」を選択ください。

- 十分満足している (82人)
- ある程度満足している (23人)
- あまり満足していない (1人)
- 満足していない (1人)
- 該当しない (2人)
- 未回答 (139人)



31. メニューは「品目が多い」「見栄えが良い」など、食事を楽しむ工夫がされていると感じますか。
※給食、おやつを提供のない場合は「該当しない」を選択ください。

- 十分に感じる (81人)
- ある程度感じる (26人)
- あまり感じない (1人)
- 感じない (1人)
- 該当しない (0人)
- 未回答 (139人)



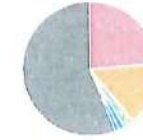
26. お子さまの会話から、給食や食事を楽しんでいるように感じますか。

- 十分に感じる (75人)
- ある程度感じる (27人)
- あまり感じない (2人)
- 感じない (4人)
- 未回答 (139人)



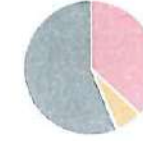
28. その日のお子さまの体調に合わせ、食事の量や調理方法などに工夫がされていると感じますか。
※給食、おやつを提供のない場合は「該当しない」を選択ください。

- 十分に感じる (59人)
- ある程度感じる (38人)
- あまり感じない (6人)
- 感じない (3人)
- 該当しない (3人)
- 未回答 (139人)



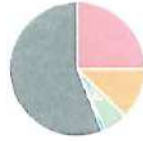
30. 行事や季節を楽しみながら食事ができるような工夫がされていると感じますか。

- 十分に感じる (92人)
- ある程度感じる (16人)
- あまり感じない (1人)
- 感じない (0人)
- 未回答 (139人)



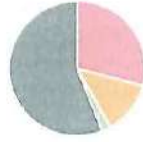
32. 健康診断や内科・歯科検診の結果について、その都度分かりやすく伝えられていますか。

- 十分に伝えられている (62人)
- ある程度伝えられている (31人)
- あまり伝えられていない (14人)
- 伝えられていない (2人)
- 未回答 (139人)



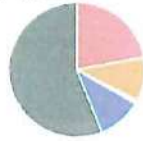
34. 子どもたちに手洗い・うがいの方法や大切さを正しく伝えられていると感じますか。

- 十分に感じる (72人)
- ある程度感じる (32人)
- あまり感じない (5人)
- 感じない (0人)
- 未回答 (139人)



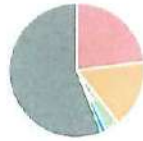
36. 事故やケガが発生した際、状況報告やその後の対応について十分な説明がされていますか。
※今年度、事故やケガが発生していない場合は「該当しない」を選択してください。

- 十分にあった (55人)
- ある程度あった (26人)
- あまりなかった (2人)
- なかった (0人)
- 該当しない (26人)
- 未回答 (139人)



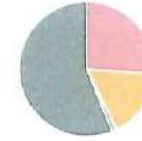
38. 不審者対策について具体的な対応策について適切な情報の提供、あるいは十分な説明などがありましたか。

- 十分にあった (57人)
- ある程度あった (41人)
- あまりなかった (8人)
- なかった (3人)
- 未回答 (139人)



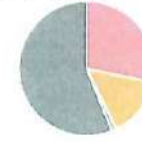
33. お子さまの健康状態についてどの職員も同じように把握し、適切に接してくれていますか。

- 十分に接してくれている (65人)
- ある程度接してくれている (41人)
- あまり接してくれていない (3人)
- 接してくれていない (0人)
- 未回答 (139人)



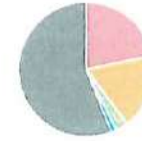
35. 園内で感染症が発生した場合、状況や対応について適切な情報の提供、あるいは十分な説明などがありましたか。
※今年度、園内で感染症が発生していない場合は「該当しない」を選択してください。

- 十分にあった (70人)
- ある程度あった (36人)
- あまりなかった (3人)
- なかった (0人)
- 該当しない (0人)
- 未回答 (139人)



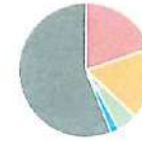
37. 地震や火事などの災害が起こった場合の対応策について適切な情報の提供、あるいは十分な説明などがありましたか。

- 十分にあった (54人)
- ある程度あった (45人)
- あまりなかった (7人)
- なかった (3人)
- 未回答 (139人)



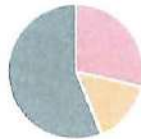
39. 虐待防止に向けた取り組みについて適切な情報の提供、あるいは十分な説明などがありましたか。

- 十分にあった (49人)
- ある程度あった (43人)
- あまりなかった (12人)
- なかった (5人)
- 未回答 (139人)



40. 園からのお知らせを分かりやすく伝えようとする工夫が感じられますか。

- 十分に感じる (71人)
- ある程度感じる (37人)
- あまり感じない (0人)
- 感じない (1人)
- 未回答 (139人)



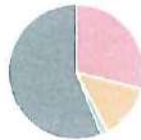
42. 日常的な情報交換に加え、相談や個別面談の機会が設けられていますか。

- 十分設けられている (78人)
- ある程度設けられている (31人)
- あまり設けられていない (0人)
- 設けられていない (0人)
- 未回答 (139人)



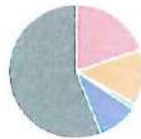
44. 普段から、保育に関する皆様の意見や意向を伝えやすい雰囲気がありますか。

- 十分にある (72人)
- ある程度ある (33人)
- あまりない (4人)
- ない (0人)
- 未回答 (139人)



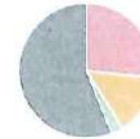
46. 子育てについて相談した際に、専門的な知識を持って分かりやすい言葉でアドバイスができていますか。
※相談する機会がなかった場合は「該当しない」を選択してください。

- 十分に感じる (49人)
- ある程度感じる (33人)
- あまり感じない (3人)
- 感じない (0人)
- 該当しない (24人)
- 未回答 (139人)



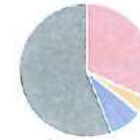
41. お子さまの園での状況、様子について連絡や情報交換は十分に行われていますか。

- 行われている (66人)
- ある程度行われている (36人)
- あまり行われていない (7人)
- 行われていない (0人)
- 未回答 (139人)



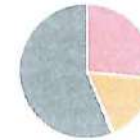
43. お子さまや家庭のことについて相談した内容が、他人に漏れていたという経験はありますか。
※相談する機会がなかった場合は「該当しない」を選択してください。

- 全くない (79人)
- ほとんどない (10人)
- たまにある (0人)
- よくある (0人)
- 該当しない (20人)
- 未回答 (139人)



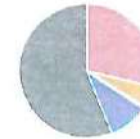
45. 園行事の開催日や時間帯は、保護者の皆さまが参加しやすいよう配慮されていますか。

- 十分配慮されている (66人)
- ある程度配慮されている (42人)
- あまり配慮されていない (1人)
- 配慮されていない (0人)
- 未回答 (139人)



47. やむを得ない事情で送迎が遅れる場合、その都度柔軟に対応してくれていますか。
※遅れたことがない場合は「該当しない」を選択してください。

- 十分な対応してくれる (71人)
- ある程度対応してくれる (13人)
- あまり対応してくれない (1人)
- 対応してくれない (0人)
- 該当しない (24人)
- 未回答 (139人)



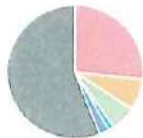
48. 職員についての総合評価をお願い致します。

- 十分に満足している (85人)
- ある程度満足している (23人)
- あまり満足していない (1人)
- 満足していない (0人)
- 未回答 (139人)



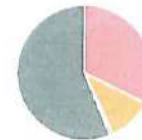
50. 保護者の立場から、お子さまを預けている園の一番良いところを1つだけお答えください。

- 職員の能力・人柄など (66人)
- 施設などの保育教育環境 (19人)
- 保育の内容 (15人)
- さまざまなサービス対応、サービス内容の利便性 (3人)
- その他 (6人)
- 未回答 (139人)

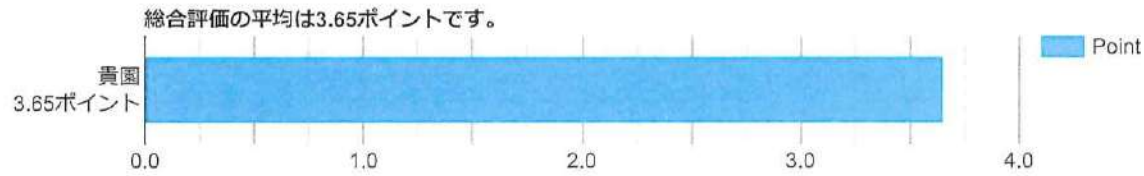


49. 園についての総合評価をお願い致します。

- 十分に満足している (80人)
- ある程度満足している (27人)
- あまり満足していない (2人)
- 満足していない (0人)
- 未回答 (139人)

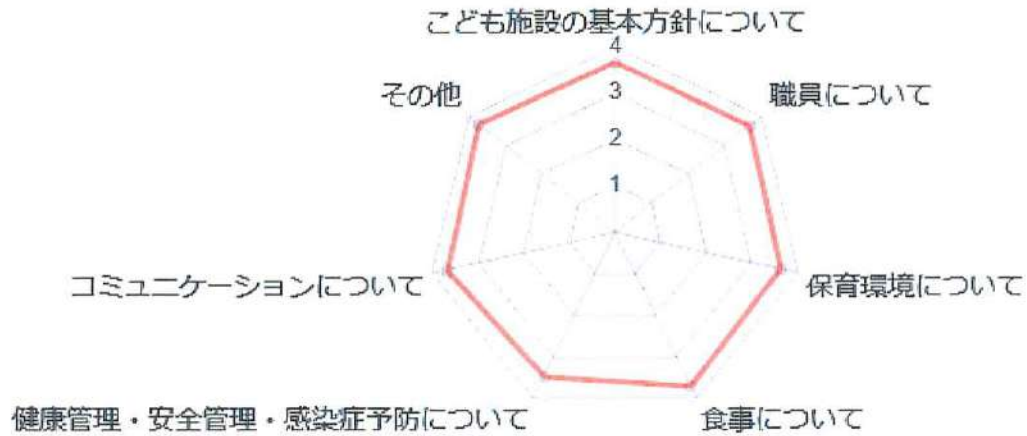


総合評価

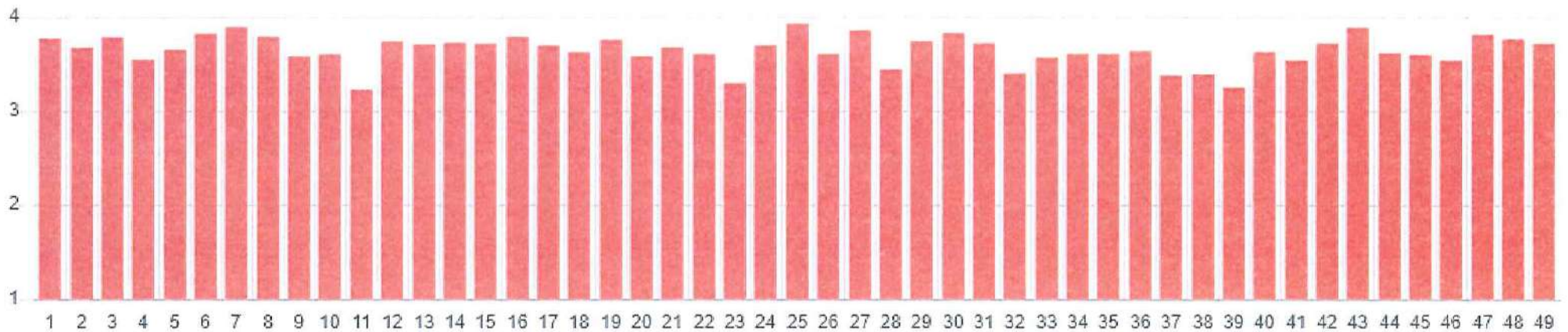


各カテゴリ毎の点数結果

50



各質問の点数結果



赤間保育園 保護者様からのご意見・ご要望

先生方のおかげで、安心して預けられますし
成長を感じられます。
ありがとうございます。

家だとしないのに、園ではすることも多く、こんな事もできているの！？と驚く程。
先生方には本当に感謝しかありません。安心して預けて仕事が出来ているこの環境を有難く思います。

人数が多いので普段どんな感じで
過ごしているかを毎日みることができないので
他の保育園のように
写真をアプリなどに載せて
みれるようにしてほしいです。

新しいものを取り入れる姿勢が常感じられる。
私は信頼して子どもを預けています。
いつも感謝です。

まだ預けていない下の子供を抱っこ紐で抱っこしたまま靴を履かせるのが大変なので、にこにこハウスの方にも椅子を設置するなどして欲しい。

いつも明るい笑顔で挨拶してくれるのでありがたいです。

いつも、笑顔の保育ありがとうございます。
これからも、楽しい、保育をよろしくお願いします。
給食も、息子がよく食べるようになり
感謝しています。

延長保育がその日に対応してもらえることも大変ありがたいです。
他市に勤めており、電車が遅れたりして間に合わないこともあるので、嫌な顔せずに受け入れてもらえるところが助かります。
また先生がいつも明るくて、みなさんいつも挨拶してくださり、安心して預けられます。
お仕事の大変な部分はあるかとおもいますが、先生方のおかげで私たち親は働くことができているので、感謝しております。

いつも楽しく登園させていただいています。とても感謝しています。
お遊戯会の看板についてですが、とても可愛らしく素晴らしいものです。毎年違う看板を設置してありますが、毎年同じものでも良いのではないかと思います。職員の皆様のお考えや思いもあると思います。職員の皆様のご負担が減るのであれば、看板以外のもので次の年も使えるものがあれば使用しても良いのではないかと思います。
職員の方々の負担が少しでも軽くなるよう、代替したり、毎年使用したりするなど、していただけたらと思います。

6年間大変お世話になりました。

特になし

いつも大変感謝しております。今後ともよろしくお願いします。

初めての子育て・初めての保育園利用ですが、とってもいい保育園に出会えたと実感しています。
児童数の多い保育園ですが、どの先生も子ども一人一人のことをきちんと把握してくださっていて、安心して預けられます。
保育内容、環境、イレギュラーへの対応等、どれをとってもきちんとしているなという印象です。

担任の先生はもちろんですが、関わる先生たち皆さん、いつも親身になって話を聞いてくれるし、よく普段の様子を教えてくれるし、とても感謝しています。また、自由人な息子への対応も配慮していただき、ありがとうございます。来年度は年長なので、小学校体育で必要になってくる縄跳びや鉄棒(逆上がり)を外遊びの時に積極的に取り入れてもらえるとうれしいなと思います。

子どもが毎日楽しそうに保育園に登所してくれるので、安心して預けられます。今年は童謡まつり、フレンドリーコンサート、保育参観も見ることができ、子どもの成長が感じれて嬉しかったです。ありがとうございます。

先生が担当園児以外の名前も保護者も全て把握しており、どの先生にも安心して相談することができる。

18:00前、残っている園児が2歳児クラスのお部屋にいる際、お迎えに行くとトイレの様子が丸見えになっていることがあります。オムツをはかずにトイレから出てきている子やオムツのままお部屋に戻ってきている子もいて気になります。小さな子どもですが、プライベートゾーンには配慮が必要だと思うので改善してほしいです。

毎日毎日小さな事でも話してくださり、私が知らない一面を聞けたりできて人数が多いのに一人一人をしっかり見てくれていてとてもありがたいです。

いつも、子供の事を丁寧に見て頂いて、色々な遊びを経験させて貰ってありがたく思っています。

強いて言うなら、コロナ対応や昨今の情勢から先生方の業務量が増えずぎで、余裕が無さそうな感じが時々します。その為少しでも、仕組みや機器等で先生方の業務改善に繋がるものがあれば、採用頂きたいです。

コロナ禍で園の行事が少なく、園の中にも入れない期間が長かったので、もっと新しい形で園での様子を伝えてほしい。ルグミーで写真を載せたり、掲示物を増やしたりしてほしい。
先生たちとのコミュニケーションも減り、園での子どもたちの姿わからなくなった。

先生達にはこの大変なご時世の中、色々と工夫をしていただきながらの保育に、とても感謝しております。
いつもありがとうございます。

保育園に通い始めて子どもが自分で身の回りの事をやろうとする姿がたくさん見られるようになりました。お迎えに行った際にできるようになったこと、園での様子を丁寧に教えて貰えるので自宅にいる時もコレは保育園で出来ていると言われてたから手を出さず見守ってみようと余裕をもって子どもと接することができています。保育園の先生方のおかげで安心して仕事をする事もできています。

主任の清水先生、何でも話やすく、子供に対しても常に明るくどの園児にも人気なのが分かります。うちの子も保育園の中で清水先生を探す程。分け隔てなく率先して保護者に話しかけてくれ、気にかけてくださる所が本当に有難く思います。

いつも本当によくしていただいて感謝しております。行事や食事は本人も特に楽しみにしているようです。今後ともよろしくお願い致します。

法律上しかたないし難しいと思いますが
もっと先生が増えたら良いと思います

いろいろな子どもがいますし、行事やコンサート、面談などで先生たちが忙しすぎて大変そうです

お預けする側からしたら、申し分ありませんが
いろいろ完璧すぎて大変だろうと想像します

お体を大切にしてください

いつもありがとうございます

いつもありがとうございます！(^^)

いつもありがとうございます(^^)！

①療育要素

発達障害グレーゾーンが多い時代なので、専門的にとまでは言わず知育療育の簡単な活動などを少し取り入れていただけると幸いです。

例：伝言ゲーム、ビジョントレーニング、カードゲーム等

②日直制度

日付曜日感覚や日替わりで発表する経験、当日リーダーの経験などが幼い時から日常的にあると就学や社会人になる時に役立つかなと考えます。

赤間保育園の愛に溢れた先生方には感謝でいっぱいです。こどもを安心して託させていただいています。いつもありがとうございます。

赤間保育園職員による保育園の自己評価

2023年2月1日～2月8日実施

○目的

- ・ 一人ひとりの職員が、設定した項目に基づき園全体の取り組みを評価することにより、園の現状や課題を把握する。
- ・ 全職員の共通理解の下、組織としてよりよい保育に向けた改善に取り組む。

○ 実施方法

- ・記名式
- ・制限回答法+自由記述
- ・全28項目

○制限回答法

- 「8割以上できている」
- 「5割以上できている」
- 「5割に達していない」→理由を記述
- 「分からない」

以上から回答

○ 考察

- ・ 今回のアンケート結果により、現状をそれぞれの職員がどのように捉えているのか、現在組織として課題となっていることが分かってきた。特に、園の取り組みについては、職員会等で全職員に周知していたが、職員の理解ができているものとそうでないものが明らかになったので、具体的に説明をしていく必要がある。

○自由記述に対する回答

Q2 事業計画は、保護者に周知され、理解を促している。

- ・ 地域支援などを行った場合、写真や動画にして玄関前のテレビや携帯に配信するなど、もっと見える化が必要ではないか。
 - ・ 事業計画は職員には3月の職員会議②で周知しているが、保護者には周知されていない為
- 地域支援のみならず保育園の活動等について、玄関に設置しているモニターを活用して情報発信していくようにしていきたいと考えています。
- 保護者には、年間行事計画を配布しています。それが事業計画となります。

Q3 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。

- ・ 色々な取組みが行われているが、徹底されていない様に思う。
- 確かに徹底不足な面は否めないところもあります。どうすれば徹底できるのか、積極的に改善策を出してください。

Q4 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。

- ・ 人がいない。新しい方が来ても慣れるまでに時間がかかりすぎる。人それぞれ精神面、体方面、問題があるが、それらを補える体制ができていない。
- 人がいない ⇒ どんな時間帯に足りないのか、どんな活動の時に足りないのかを主任、副主任に知らせてください。
- 新しい方が慣れるまでに時間がかかる
⇒ 人材育成には時間はかかります。温かい目で育成に関わっていただきたいと思っています。
- 補える体制ができていない
⇒ 人員については、国の基準以上の確保ができていますが、どんな状況で体制ができていないと感じるのか主任、副主任に知らせてください。

Q7 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。

- ・ 私たちが園の財務状況を知るすべがない。(1月の職員会議で電気代の話があったが、金額が提示されず身近に感じられなかった。)
- 職員の方々がより理解をし、節約等を自ら進んで取り組めるように、一部具体的な数字を出していきたいと思います。

Q8 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。

- ・ コロナ禍で地域と関わるのが難しい。
- 令和5年度は、積極的に地域との交流を進めていきましょう。

Q10 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。

- ・ 私自身がどこまでがプライバシーの侵害なのかをきちんと把握していないと思う。
- プライバシー保護研修(R4, 7月~8月実施)でも学ばれたと思いますが、重要なことは、「人としての尊厳を守る」ことです。特に、排泄の時、着替えの時、大人なら「恥ずかしい、屈辱的だ」と感じる事があれば、尊厳を踏みにじっていることとなります。子どもだからと許されるわけではありません。

Q11 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。

- ・ よくわからない。入園のしおり以外、保護者が尋ねる事全てに答えているのか、どこまで園の案内をしている際、話しているのか知らない。
- 保育園の PR 用リーフレットやパンフレットを公共施設に配布しています。また、ホームページも閲覧できます。それも積極的な情報提供になります。
- 園見学時については、Q&Aを作成して配布したいと思います。

Q17 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。

- ・ 訓練は毎月行っているが、リアリティがなく、現実になると戸惑うと思う。
- ・ 地震と豪雨災害に対しては、マニュアルや取組があるが、津波や大雪についてのマニュアルや取組は行っていない。

- 訓練を行うポイントは、保育者が①災害時に冷静な判断ができる、②子どもたちに適切な指示ができる、③避難時の問題点を把握しておくことです。その上で、なるべくリアリティが出るよう訓練の工夫をしていただきたいと思います。
- 「津波」についてのマニュアルは、宗像市の防災マップでは、海岸地域に限定されているので必要ではないと考えます。「大雪」についても豪雪地帯ではないので、マニュアルは必要ないと考えますが、大雪警報が出た場合は、他の災害マニュアルを参考に組み込んでいきましょう。

Q21 健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。

- ・ うがいで口の中を清潔にできていない。カウプ指数が出ても出しっぱなしで、保育者が何かをするのではない。健康診断の結果を保育者に知らせていない。
- ・ 健康診断・歯科検診の結果をクラス内でも十分な共有がなされていない。他のクラスの子どもになると情報がない。
 - うがいで口の中を清潔にできていない。
 - ⇒ ほかにどんな方法があるのかを提案してください。
 - カウプ指数のこと
 - ⇒ これは保護者に対しての情報提供です。家庭での食事の改善に繋げて欲しいために実施しています。保育園でできることを、積極的に提案してください。
 - 健診結果を保育者に知らせていない。
 - ⇒ 健康診断表は、保育者なら誰でも閲覧できます。確認してください。
 - 健診結果等の情報共有について
 - ⇒ クラス会議、クラスミーティング等でしっかりと情報共有をお願いいたします。

Q23 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。

- ・ 「自分で育てて食べる」「作って食べる」といった事が出来ていないように思う。
 - 食育については、コロナ禍で十分な取組ができていませんでした。令和5年度は、子どもたちが育てて、それを給食等で提供できるように取り組んでいただきたいと思います。

令和4年度 赤間保育園職員による保育園の自己評価 【アンケート調査の集計結果】

2023年3月18日(土)

***** <調査の実施概要と回答者の基本属性> *****

調査対象者：赤間保育園職員53名

調査実施期間：2023年2月1日(水)～2月8日(水)までの8日間

アンケート調査の方法：記名式・制限回答法+自由記述

アンケート調査項目数：28項目

回収数(回収率)：53部(100%)

基本属性(職種)：〈順不同〉保育士32名(60.4%)、保育補助7名(13.2%)、栄養士5名(9.4%)、

主任保育士2名(3.8%)、調理員2名(3.8%)、事務員2名(3.8%)、

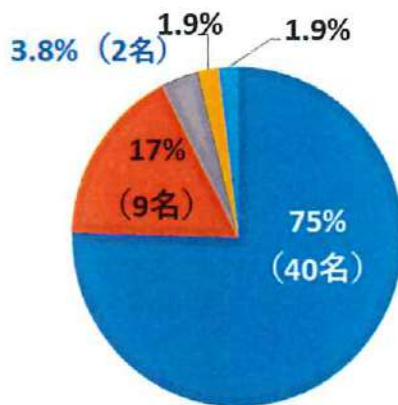
看護師1名(1.9%)、主任栄養士1名(1.9%) および 用務員1名(1.9%)

【Q 1】 理念、基本方針が明文化され周知が図られている



- 8割以上できている/理解している
- 5割以上できている/理解している

【Q 2】 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している

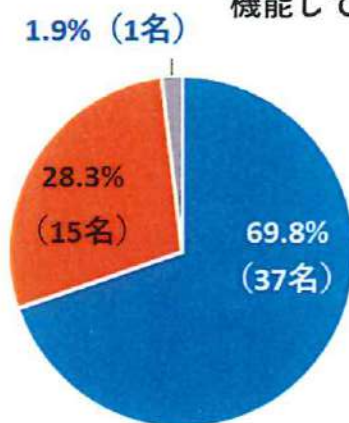


- 8割以上できている/理解している
- 5割以上できている/理解している
- 5割に到達していない/改善を要する
- わからない/知らない
- 無回答



【そう思う理由】・地域支援などを行なった場合、写真や動画にして玄関前のテレビや携帯に配信するなど、もっと見える化が必要なのではないか。
 ・事業計画は職員には3月の職員会議②で周知されているが、保護者には周知されていない為

【Q 3】 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している

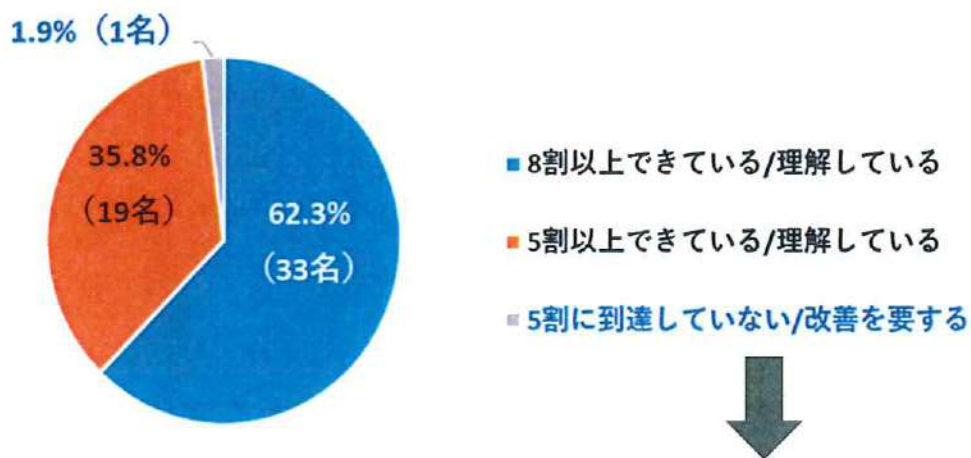


- 8割以上できている/理解している
- 5割以上できている/理解している
- 5割に到達していない/改善を要する



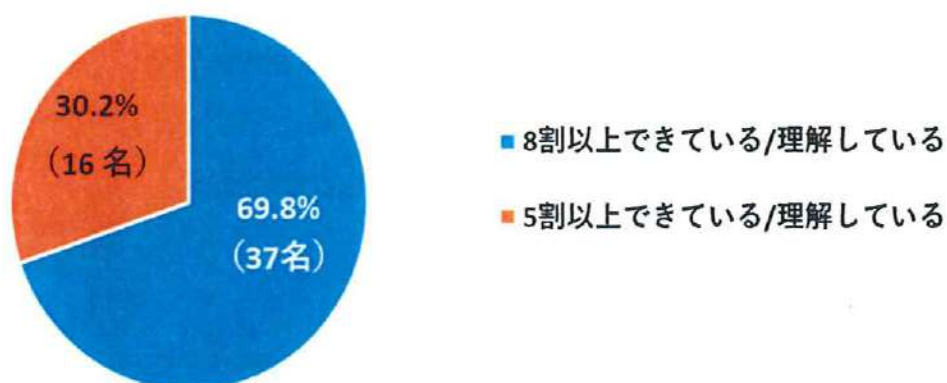
【そう思う理由】・色々な取り組みが行なわれているが、徹底されていない様に思う。

【Q4】 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる

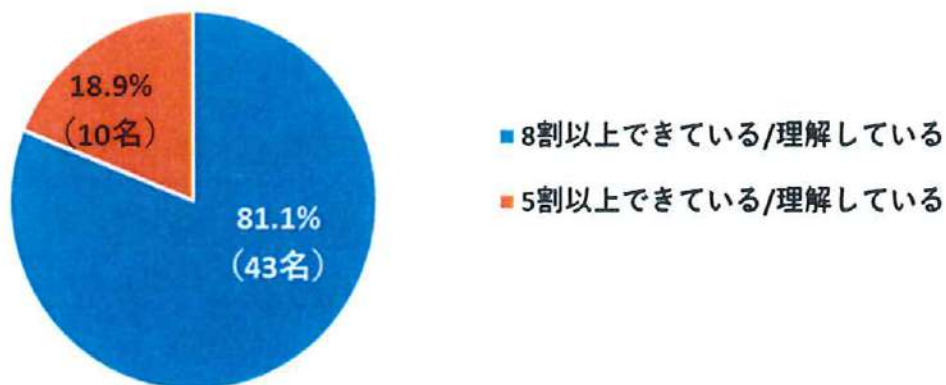


【そう思う理由】・人がいない。新しい方が来ても慣れるまでに時間がかかりすぎる。人それぞれ精神面、体力面、問題があるが、それらを補える体制が出来ていない。

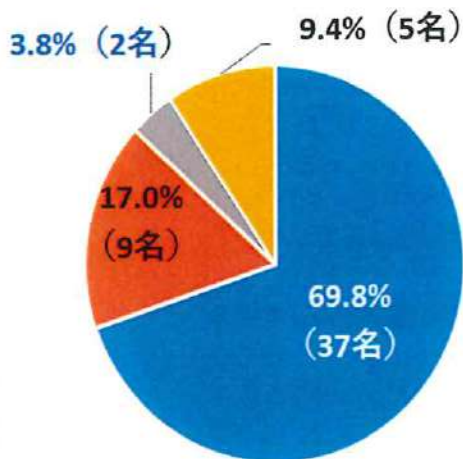
【Q5】 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている



【Q6】 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている



【Q7】 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている

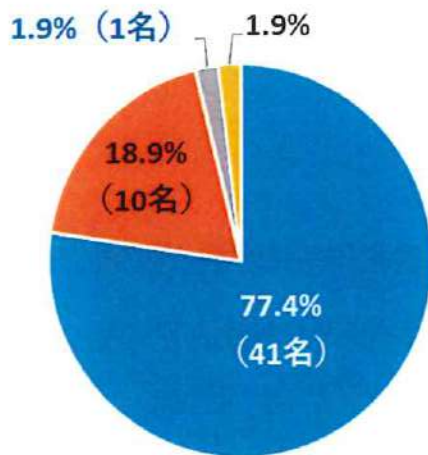


- 8割以上できている/理解している
- 5割以上できている/理解している
- 5割に到達していない/改善を要する
- わからない/知らない



【そう思う理由】・私たちが園の財務状況を知るすべがない（1月の職員会議で電気代の話があったが、金額が提示されず身近かに感じられなかった。）

【Q8】 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている

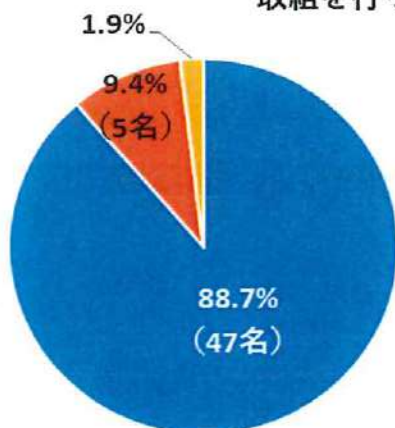


- 8割以上できている/理解している
- 5割以上できている/理解している
- 5割に到達していない/改善を要する
- わからない/知らない



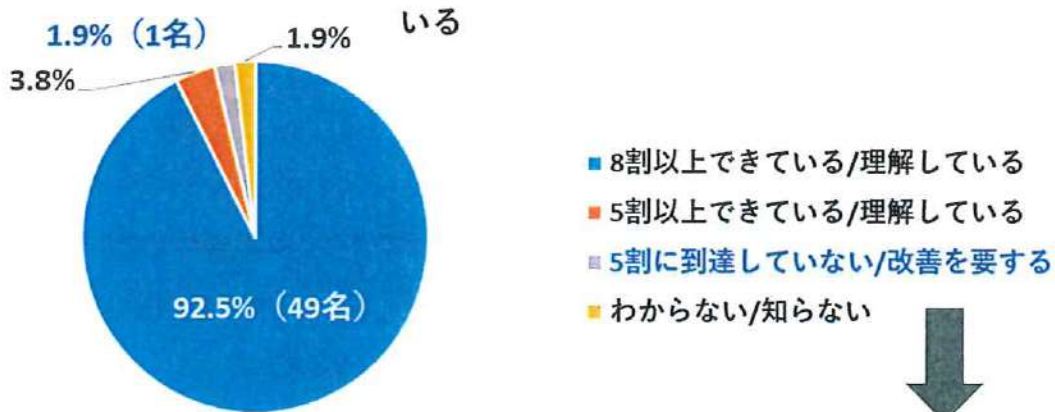
【そう思う理由】・コロナ禍で地域と関わる事が難しい。

【Q9】 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている



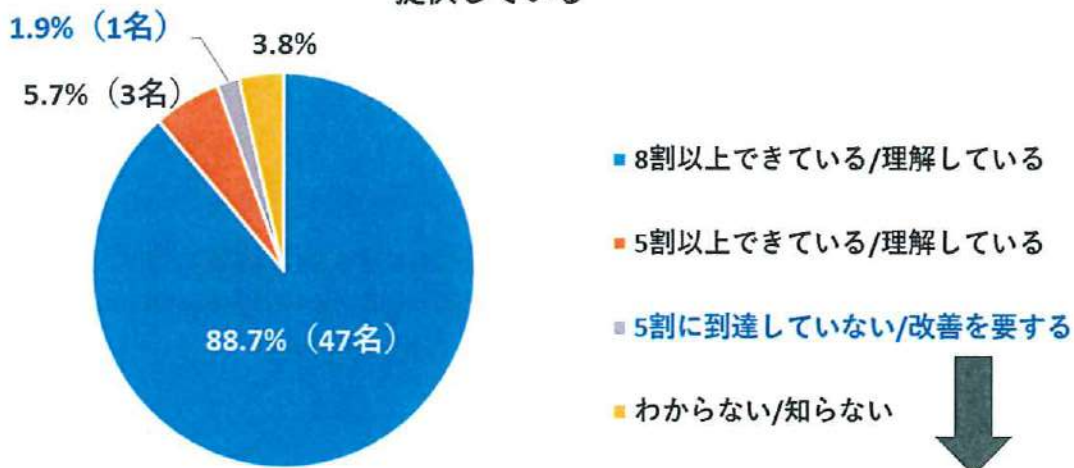
- 8割以上できている/理解している
- 5割以上できている/理解している
- わからない/知らない

【Q10】子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている



【そう思う理由】・私自身がどこまでがプライバシーの侵害なのかをきちんと把握していないと思う。

【Q11】利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している



【そう思う理由】・よくわからない。入園のしおり以外、保護者が尋ねる事全てに答えているのか、どこまで園の案内をしてる際、話しているのか知らない。

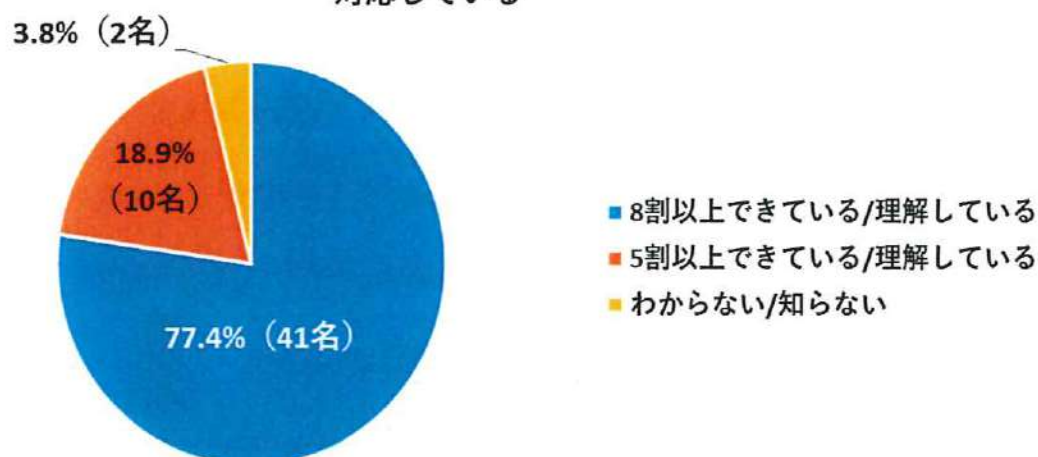
【Q12】苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している



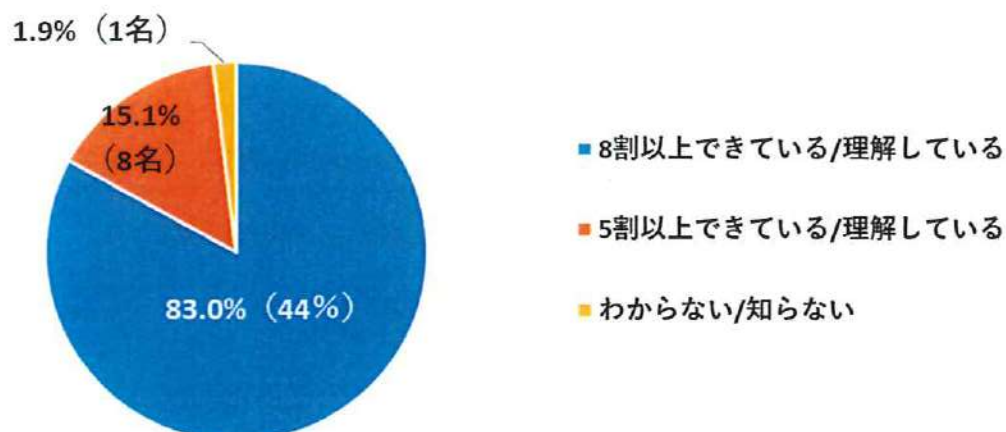
【Q 1 3】 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、
保護者等に周知している



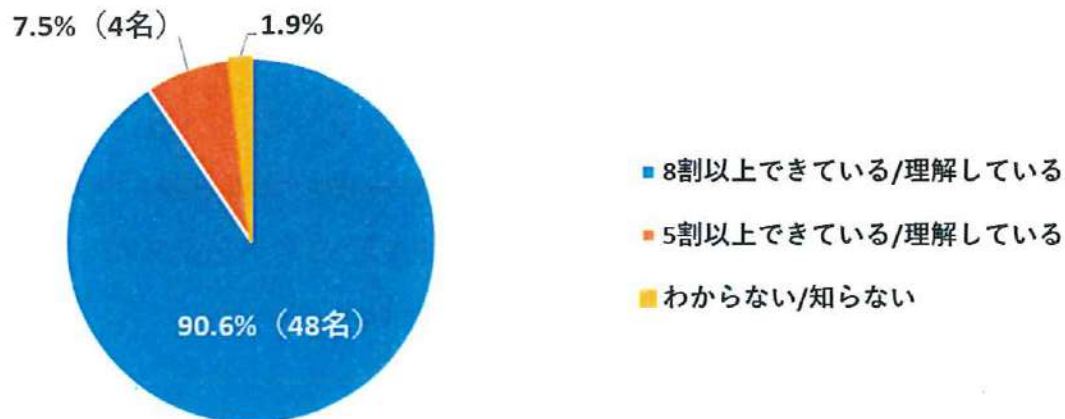
【Q 1 4】 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に
対応している



【Q 1 5】 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスク
マネジメント体制が構築されている



【Q 1 6】感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている

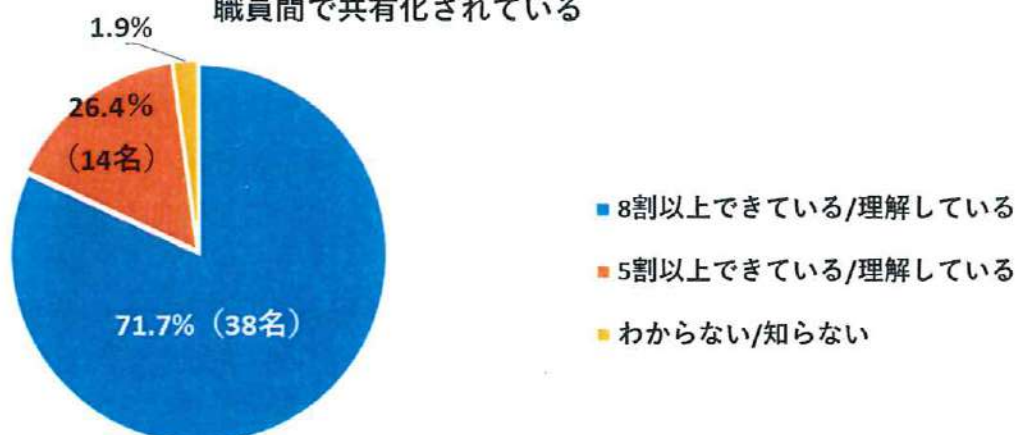


【Q 1 7】災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている



【そう思う理由】・訓練は毎月行なっているが、リアリティがなく、現実になると戸惑うと思う。
・地震と豪雨災害に対しては、マニュアルや取組があるが、津波や大雪についてのマニュアルや取組は行っていない。

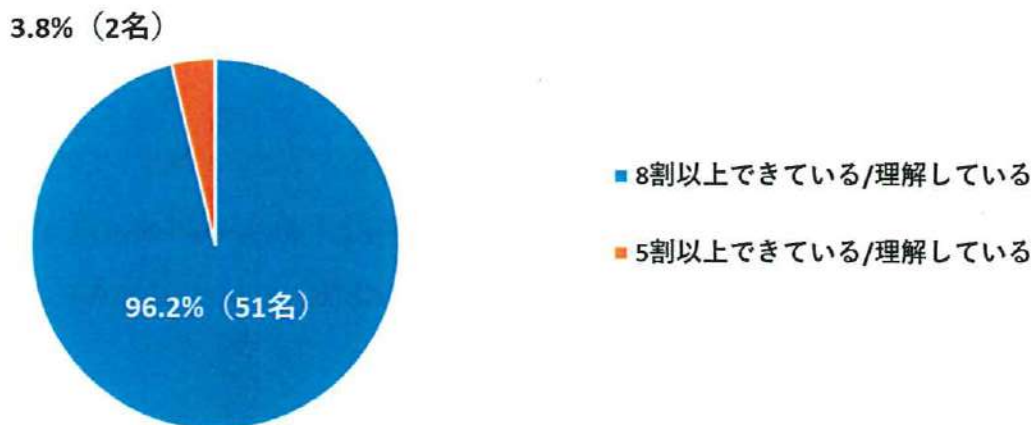
【Q 1 8】子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている



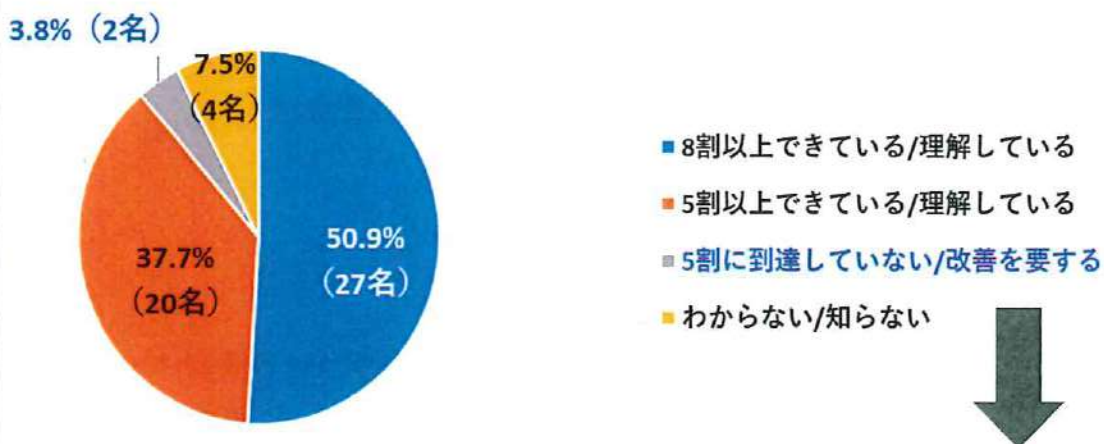
【Q19】 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している



【Q20】 子どもの健康管理を適切に行っている



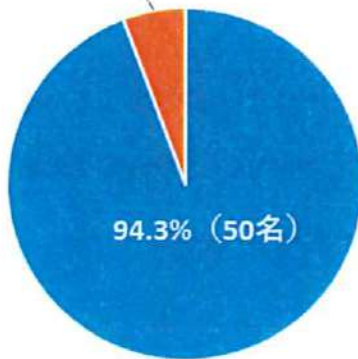
【Q21】 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している



【そう思う理由】・うがいだけで口の中を清潔に出来ていない。カウプ指数が出ても出しっぱなしで、保育者が何かをするのではない。健康診断の結果を保育者に知らせていない。
・健康診断・歯科健診の結果をクラス内でも十分な共有がなされていない。他のクラスの子どもになると情報が無い。

【Q 2 2】アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け、適切な対応を行っている

5.7% (3名)

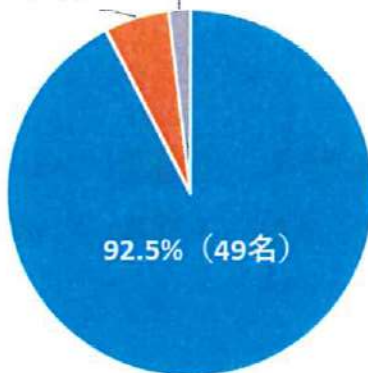


- 8割以上できている/理解している
- 5割以上できている/理解している

【Q 2 3】食事を楽しむことができるよう工夫をしている

5.7% (3名)

1.9% (1名)



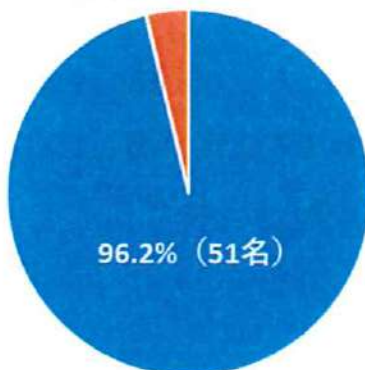
- 8割以上できている/理解している
- 5割以上できている/理解している
- 5割に到達していない/改善を要する



【そう思う理由】・「自分で育てて食べる」「作って食べる」といった事が出来ていないように思う。

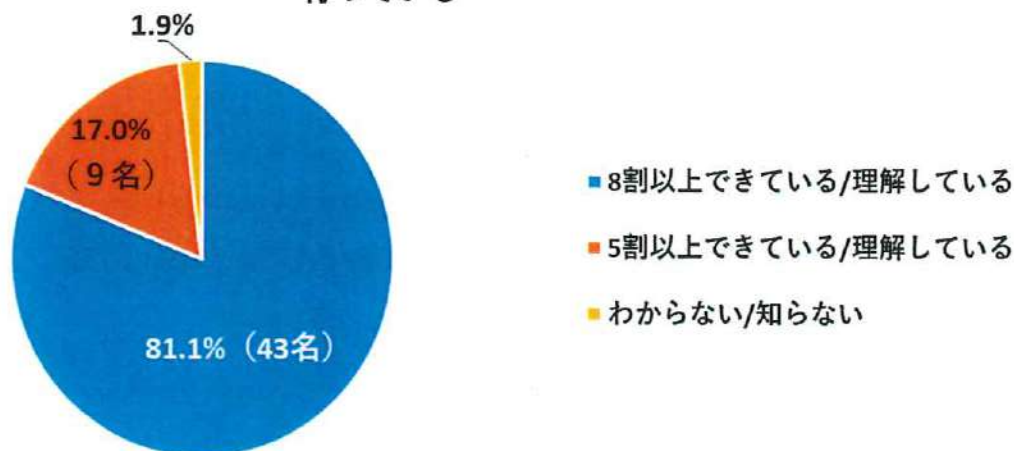
【Q 2 4】子どもがおいしく安心して食べる事の出来る食事を提供している

3.8% (2名)

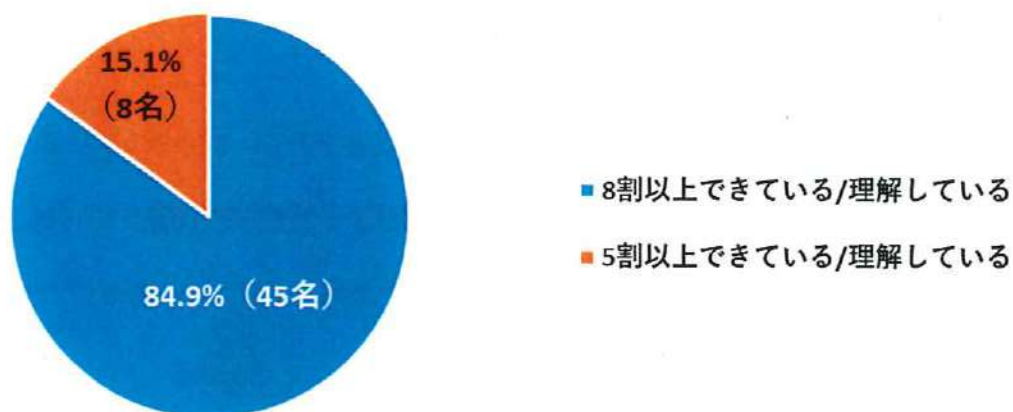


- 8割以上できている/理解している
- 5割以上できている/理解している

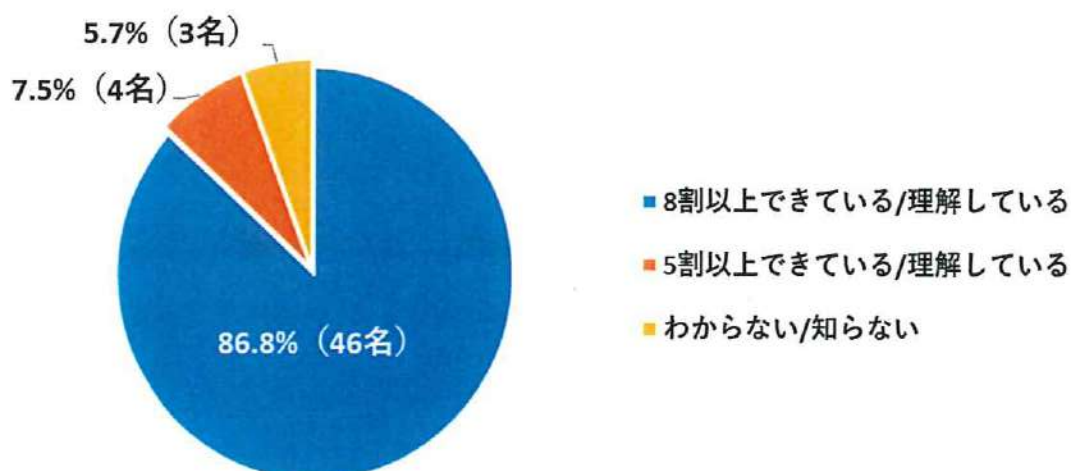
【Q 2 5】子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている



【Q 2 6】保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている



【Q 2 7】家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている



【Q 2 8】 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を
行い、保育実践の改善や専門性の向上に務めている



以上

地域支援事業

1. 社会貢献（地域交流等）事業

（1）年間目標

- 1) 地域社会との連携を図り、子どもの健やかな環境づくりを行う。
- 2) 世代を超えた人々との触れ合いの中で、豊かな心を育む。

（2）1）地域社会との連携を図り、子どもの健やかな環境づくりを行う。

①計画と実践

（ア）地域の行事等に参加し、地域の方との交流を深める計画を立てたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、実践できない内容があった。

（イ）保育活動や行事で、学生ボランティアやあかまっこ応援団のサポートや協力があつた。

②評価と改善の課題

（ア） コロナ禍のため、中学2年生の職場体験・運動会への老人施設招待や交流ができなかった。しかし、勤労感謝慰問で、城山庵とライフステイむなかたには、手作りカレンダーを渡しに行くことできた。次年度は、安全な状況の中で、できる限り計画した内容ができるようする。

（イ） 引き続き、地域の方に保育園の活動を知らせて連携を図る。また、学生ボランティアやあかまっこ応援団に協力の呼びかけを行う。

2）世代を超えた人々との触れ合いの中で、豊かな心を育む。

①計画と実践

（ア） 2歳児～5歳児までの慰問を年間計画に取り入れたが、実践できない内容があつた。

②評価と改善の課題

（ア） コロナ禍のため、勤労感謝慰問以外の慰問ができなかった。次年度は、世代を超えた人々との触れ合い交流ができるように、内容を工夫し継続して行っていくようする。

2. 子育て支援事業

1) リフレッシュタイム

（1）年間目標

①保護者が子どもから離れ、少しでも自分の時間を持つことでリフレッシュできる時間と場所の提供を行う。

（2）計画・実践と評価・改善の課題

①計画・実践

（ア）「クリスマスリース作り」を計画し実践した。また、子どもは託児を行った。

（イ）アンケートを実施した。

②評価・改善の課題

（ア）参加者がとてもリフレッシュして、笑顔で参加していた。次年度は、リフレッシュタイムの回数を増やすことやティータイムの検討を行う。

（イ）アンケートの内容

- ・自分好みのクリスマスリースが出来て、楽しかったです。
- ・とても、リフレッシュできました。
- ・とても夢中になって作りました。楽しかったです。

2) 園見学

(1) 年間目標

1) 園の環境や保育を見て頂くことにより、当園の保育理念や保育方針を理解して頂く。

(2) 計画・実践と評価・改善の課題

①計画・実践

(ア) 電話で受付を行い、可能な限り保護者の希望に日時を合わせて1組ずつ、お子さんの年齢のクラスを中心に短時間での案内を行った。

(イ) アレルギー児の食事、手ぶら登園（「おむつ」と「おしりふき」を持参する必要がないシステム）、保健室等についての説明を行った。

②評価・改善の課題

(ア) 今後も、可能な限り保護者の希望の日時に見学を行う。

(イ) 引き続き、0歳児の方は、午前10時か午後2時の離乳食の時間に案内をして、食事状況を見ていただくようにする。

(ウ) 一方的に説明するのではなく、保護者からの質問や保育園に預けることに不安なこと等の話にも、丁寧に対応することを心掛ける。

4月	5月	6月	7月	8月	9月
2家族	6家族	7家族	11家族	8家族	12家族
10月	11月	12月	1月	2月	3月
28家族	9家族	5家族	0家族	1家族	3家族

3) ママとキッズのなかよしクラブ

(1) 年間目標

1) 季節感のある保育や、家庭では体験できない保育を親子で楽しむ。

(2) 計画・実践と評価・改善の課題

①計画・実践

(ア) 「運動会ごっこ」「おまつりごっこ」「キャンプごっこ」を計画した。

(イ) 毎回アンケートの実施を行った。

②評価・改善の課題

(ア) 「運動会ごっこ」は、園内で新型コロナウイルス感染が拡大したため、予約していた方に連絡を入れた。5組全ての方がキャンセルをした。

「おまつりごっこ」「キャンプごっこ」は、園児と関わることを控え3階で行った。

参加者は、楽しんでいたが、保育園の特性を活かして、次年度は園児と関われるよう計画をする。



(イ) アンケートの内容

「おまつりごっこ」

- ・保育士さんが優しくしてくださったので、嬉しかったです。
- ・子どもたちが、とても楽しくはしゃいでいました。

「キャンプごっこ」

- ・子どもが楽しそうにできて良かったです。
- ・コロナ禍で初めての参加でしたが、とても楽しく安心して過ごせました。



4) 個別カウンセリング

(1) 年間目標

- 1) 子育ての悩みや不安を解決する。



(2) 計画・実践と評価・改善の課題

①計画・実践

- (ア) 予約制で行い、3階の一室で海塚先生と保護者のみでゆっくりと話ができるようにした。

②評価・改善の課題

- (ア) 次年度も、引き続き予約制で行う。また、保護者の中で、子育てに悩みや不安を持たれている方に対して個別カウンセリングの案内をする。

5) お月見コンサート

(1) ねらい

- 1) ピアノトリオと声楽の生演奏を地域の方々に聞いていただき、心の安らぎや癒しを感じていただく。また、地域との交流を図る。

(2) 計画・実践と評価・改善の課題

①計画・実践

- (ア) お月見コンサートのポスターを作成し、地域の公共施設（公民館・コミュニティセンターなど）に貼り、広く呼び掛けた。また、以前来てくださった方には、芳名帳よりお知らせを送った。
- (イ) 演奏の途中に、職員によるダンスやカードなどを用いて、お客様も参加して楽しめるものを計画した。また、子どもたちと一緒に歌える曲も取り入れ、参加できるようにした。
- (ウ) コンサートの終わりに、アンケートを取り、感想や次回への希望曲などをお聞きした。

②評価・改善の課題

- (ア) コロナウイルス感染症拡大防止のため、3年ぶりの開催だった。宗像市の数か所にポスターを貼らせていただいたが、ポスターを見て来られた方は3名だった。また、園からのお知らせを見て来てくださった方が多く、以前から応援して下さる方が多いことが分かった。
- (イ) スムーズに並んだり、カードを配るタイミングなどを確認したりしながら練習を行い、当日はお客様と一緒に演奏に参加される様子が見られた。また、普段から歌っている曲を入れることで、子どもたちも楽しく参加できていた。
- (ウ) 来園者104名中、68名がアンケートに答えて下さり、コロナ渦の中でコンサートを開催したことへのたくさんの感謝や励まし、感動の言葉もいただいた。生の演奏が深く観客の心に癒しを伝えられることを実感すると共に次回の取り組みへの課題も見えた。
*ドレミのカードの字が見えにくかったので、見えやすいように工夫する。

*子どもたちが特に小さいと飽きてしまうので、前半に子どもが分かる曲を組むなど、曲順を工夫する、など。



6) ぽかぽかコンサート

(1) ねらい

1) 生演奏による音楽を親子で楽しむ。

(2) 計画・実践と評価・改善の課題

①計画・実践

(ア) 赤間保育園わくわくホールにて、クラシックや童謡をピアノトリオとパーカッションによる生演奏を聴いて頂いた。

(イ) アンケートを実施した。

②評価・改善の課題

(ア) 11組の方が来場され、生演奏による音楽を親子で一緒に歌いながら、楽しめる姿が見られた。また、子どもが保育者や参加していた園児と一緒に「パプリカ」を踊ったり、ドレミの歌に合わせて音階のパネルを親子で挙げたりする事も楽しむ姿が見られた。

(イ) アンケートの内容

- ・身近で生演奏を聴ける機会があまり無かったので、とても楽しむ事ができました。
- ・またぜひ、参加させていただきたいです。次回も楽しみにしています。
- ・とても楽しかったです。ありがとうございました。バイオリンが素敵でした。
- ・子どもも一緒に踊ったり楽しめたりする曲がたくさんあり、楽しかったです。大人も楽しかったです。
- ・楽しい時間を過ごさせて頂きました。



7) おひさまランチ

《事業内容》

①対象：0歳～就学前の乳幼児とその保護者、定員：3組、費用：無料

②内容：給食メニュー、たなばたランチ、ハロウィンランチ

6月	7月	9月	10月
15日(水)「保育園給食」 ・なっとく丼 ・和風サラダ ・麩の味噌汁 ・オレンジ 【大人2人・子ども2人】 (普通食2人)	厨房の 空調機器の 不具合によ り中止	7日(水)「保育園給食」 ・五分づきご飯 ・鶏肉のパン粉焼き ・水菜のサラダ ・ごぼうのポタージュ 【大人2人・子ども2人】 (普通食2人)	26日(水)「ハロウィンランチ」 ・おばけパン ・魔女のサラダ ・カボチャのポタージュ ・梨 【大人3人・子ども4人】 (普通食4人)

(1) ねらい

1) 食べることの楽しさを知り、旬の食材や行事食を味わう。

(2) 計画・実践と評価・改善の課題

①計画・実践

(ア) 上記の内容を計画し実践を行った。また、毎回アンケートを実施し、必要に応じて次回改善を行った。

(イ) 参加者同士で話ができる場や、給食担当職員も参加者と直接話をする時間を設けた。

②評価・改善の課題

(ア) アンケートの内容

・とてもおいしかったです。前回、教えて頂いたメニューを作ったら子どもたちは美味しいと食べてくれました。またレシピを見て作りたいと思います。

・参加のお声を掛けて頂き、ありがとうございました。

・美味しいランチをありがとうございました。

8) おやつをたべよう

《年間目標》

①手作りおやつを親子で味わう。

《事業内容》

①対象：0歳～就学前の乳幼児とその保護者、定員：3組、費用：無料

新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止

3. 世代間交流

1) 同窓会

(1) ねらい

1) 保育園時代の友だちとの再会を楽しむ。

2) 友だち、保育者と遊ぶ事を懐かしみ、遊ぶ。

(2) 計画・実践と評価と改善の課題

1) 保育園時代の友だちとの再会を楽しむ。

①計画と実践

(ア) 昨年の担任が出迎え、卒園児が楽しく過ごせるようにした。

②評価と改善の課題

(ア) 一人ひとりの名前を呼んだり、挨拶を行ったりした。また、保育者が小学校生活はどうであるか、小学校に行って何が一番面白いかなど聞き、友だち同士で楽しい会話が広がっていた。

2) 友だち、保育者と遊ぶ事を懐かしみ、遊ぶ。

①計画と実践

(ア) 久しぶりの再会を兼ねて、思い出に残るよう集合写真を撮り、手作りのフォトフレームを作った。

②評価と改善の課題

(ア) 様々な素材（折り紙・付箋・マスキングテープ）を準備する事で、個々に違った素敵なフォトフレームができていた。

2) 勤労感謝訪問（手作りカレンダー渡し）

(1) ねらい

1) 地域の方に、日頃の感謝の気持ちを伝える。

(2) 計画・実践と評価と改善の課題

1) 地域の方に、日頃の感謝の気持ちを伝える。

①計画と実践

(ア) 日頃の感謝の気持ちとともにカレンダーを渡し、使っていただける喜びを感じられるようにした。

②評価と改善の課題

(ア) 少人数のグループに分かれて1～2カ所を歩いて回った。カレンダーを渡す際は、全員で「いつも、ありがとうございます。」と感謝の気持ちを伝えることができた。渡しに行く前に保育園周辺にどのような施設があり、どのような形でお世話になっているかを子どもたちに伝えることでより親しみを持つ事ができた。

《事業内容》・社会貢献事業 ・子育て支援事業

4月	5月	6月
	<ul style="list-style-type: none"> ● 8日(日) 陵巖寺地区一斉清掃 ● 15日(日) 赤間地区一斉清掃 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 8日(水) ママキッズ 「運動会ごっこ」 ● 15日(水) おひさまランチ (2組参加)
7月	8月	9月
<ul style="list-style-type: none"> ○ 7日(木) おひさまランチ ● 16日(土) 童謡まつり ● 23日(土) 小学1年生 同窓会 ● 27日(水) ママキッズ 「おまつりごっこ」 (2組参加) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3日(水) おやつをたべよう ● 6日(土) 個別カウンセリング 海塚 敏郎氏 (2組参加) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 7日(水) おひさまランチ (2組参加) ● 28日(水) ママキッズ 「キャンプごっこ」 (3組参加) ○ わくわくワーク (城山中学校2年生) ○ 宗像中学校2年生職業体験 ● 11日(日) 陵巖寺地区一斉清掃 ● 18日(日) 赤間地区一斉清掃
10月	11月	12月
<ul style="list-style-type: none"> ● 8日(土) お月見コンサート ○ 2日(土) 運動会 (緑風園・城山庵招待) ● 24日(月)～11/19(土) 勤労感謝訪問(2,3,4,5歳児) ● 26日(水) おひさまランチ (3組参加) ● 城山庵との交流(4歳児) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 9日(水) おやつをたべよう ● 城山中学校3年生家庭科授業での 保育体験 	<ul style="list-style-type: none"> ● 1日(木) リフレッシュタイム 「クリスマスリース作り」 (2組参加) ○ 緑風園訪問(5歳児) ● 城山中学校3年生家庭科授業での 保育体験
1月	2月	3月
	<ul style="list-style-type: none"> ● 赤間宿まつり参加 	<ul style="list-style-type: none"> ● 4日(土) ぼかぼかコンサート (11組参加)

●● : 実施

○○ : 実施なし

保育士派遣事業

(1) 年間保育目標

- 1) 親子での親睦を深め、遊びを楽しもう。
- 2) 様々な親子と関わるきっかけを作ろう。

(2) 計画・実践と評価・改善の課題

- 1) 親子での親睦を深め、遊びを楽しもう。

①計画・実践

- (ア) 季節にあった保育や家庭では体験できない保育計画し実践した。

「運動会ごっこ」「お正月遊び」

- (イ) 毎回アンケートの実施を行った。

②評価・改善の課題

- (ア) 親子で楽しんでいる姿が多く見られた。今後も、南郷会館の担当者と打ち合わせを行いながら、季節感があり、家庭では体験できない楽しい保育を計画していく。

- (イ) アンケートの内容

「運動会ごっこ」

- ・色々なプログラムがあり、とても楽しかったです。
- ・保育園に通った姿が想像できて、親として安心できました。
- ・普段は慣れるまでに時間がかかるのですが、今日は最初から楽しそうな顔が見られたので嬉しかったです。

「お正月遊び」

- ・こま作りや歌や絵本等、とても楽しかったです。
- ・家では見られない娘の姿が見られて、とても嬉しかったです。
- ・とても楽しかったです。子どももずっと楽しそうで、素敵な時間でした。

- 2) 様々な親子と関わるきっかけを作ろう。

①計画・実践

- (ア) 開始前・保育中・休憩時間など、積極的に参加者や子どもたちに声かけを行った。

② 評価・改善の課題

- (ア) 保護者は楽しそうにお子さんのことを話してくれた。今後は、育児相談なども行えるような体制や雰囲気作りの検討をする。

《事業内容》

6月	10月	1月
○ 8日(水) 南郷会館 ※新型コロナ感染症流行の為	● 12日(水) 南郷会館 「運動会ごっこ」 (9組参加)	● 11日(水) 南郷会館 「お正月遊び」 (8組参加)

●：実施

○：実施なし

園内研修

(1) 年間目標

1) 保育者の資質の向上を図る。

4月	5月	6月
(18, 20, 22, 26) 人権研修 (19) 保育所保育指針研修 (21) エピペン研修：13名	(9) 人権研修 (27) 保育所保育指針研修	(22) 保育所保育指針研修 (27～29) 人権研修
7月	8月	9月
(21) 新任研修：2名 (29) プライバシー保護研修	(3) 接遇向上研修 (24) プライバシー保護研修 (30, 31) 人権研修	(1) 人権研修 (28) 個人情報保護規程研修
10月	11月	12月
(28) 個人情報保護規程研修	(21) 人権研修	(21) 人権研修
1月	2月	3月
(25) 人権研修		(1, 2) 幼児安全法講習会

(2) 計画と実践・評価と改善の課題

1) 保育者の資質の向上を図る。

①計画と実践

(ア) 園内で研修会を行うことで、より身近な情報について研鑽し、職員の共通理解を図れるようにした。

②評価と改善の課題

(ア) 一部の研修は、職員会議の後半で研修会を行うことで、より多くの職員が同じモチベーションの中で自己研鑽を行うことができた。当日休んだ職員に対して、後日研修会を行うことができなかったため、今後は行い、全員で共通理解を持つことができるようにする。

【1】人権研修

(1) 年間目標

1) 赤間保育園職員の人権意識の向上を図る。

(2) 計画と実践・評価と改善の課題

1) 赤間保育園職員の人権意識の向上を図る。

①計画と実践

(ア) 人権意識の向上を図るために、継続的に研修を実施した。

4月・・・「あの日のオルガン」DVD 視聴

ねらい・・・子ども一人ひとりを大切にするととは何か、保育士としての基本姿勢を学ぶ。

6月・・・「人権擁護のためのセルフチェックシート」

ねらい・・・子どもを尊重することや子どもの人権擁護について意識を高め、自らの保育を振り返る。

8月・・・「ハラスメント研修」(宗像市人権対策課より講師2名招聘)

ねらい・・・様々なハラスメントについて考え、お互いを尊重し、一人ひとりの個性や能力の発揮できる職場を目指す。

11月・・・人権意識を高める 「ふつう」ってなに？

ねらい・・・事例をもとに「ふつう」とは何かを考え、自分の中の当たり前を振り返る。

12月・・・「保育士による不適切な対応について①」

ねらい・・・子どもへの対応について、何が不適切なのか、どんな対応をすればいいのかを事例をもとに考える。

1月・・・「保育士による不適切な対応について②」

ねらい・・・子どもへの対応について、何が不適切なのか、どんな対応をすればいいのかを事例をもとに考える。

(イ) 一人ひとりが主体的に研修に参加できるように、参加体験型の研修を行った。

②評価と改善の課題

(ア) 4月は、戦時中、保育士だけで園児の疎開を行い子どもの命を守ったという実話をもとに作られた映画「あの日のオルガン」を視聴し、子ども一人ひとりを大切にするとはどういうことなのか、保育士として究極ともいえる姿を学ぶことができた。

6月は、全国保育士会が作成したセルフチェックリストを使用して研修を実施した。人権擁護の視点から、『良くない』と考えられるその行為がなぜ良くないのか、自らが意識をせずに「子どもを置き去りにした保育」や「保育者の都合で進める保育」を行っていないかなど、保育者一人ひとりが自らの保育を振り返り、戒めることができた。

8月では、宗像市人権対策課より講師を招き、「ハラスメントとコミュニケーション」の研修を実施した。誰もが快適に働くためには、お互いを尊重しあう良好な人間関係が欠かせないこと。そのためには、「人の嫌がることをしない、言わない」という人として当然のマナーやルールを守る事の大切を改めて学ぶことができた。

11月は、日頃何気なく使っている「ふつう」という言葉について、何が「ふつう」で、何が「ふつうじゃないのか」、事例をもとに考えた。「ふつう」でありたいという多数派の意識が知らず知らずのうちに社会の中で生きづらい人を生み出しているのではないか。自分の中の「ふつう」や「当たり前」が「決めつけ」になっていないか等、グループで話し合い気

づくことができた。

12月と1月では、子どもへの関わり方で、事例研修を行った。保育士の何が不適切なのか、どうすれば子どもの人権に配慮した関わり方ができるのかを事例をもとにグループで話し合うことができた。日頃の実践に生かせるようにするために、事例研修を継続して行いたい。

- (イ) 一人ひとりが自分の考えを持ち、意見を出しやすいように最大4人で話し合うようにした。また、園全体のコミュニケーションの活性化になるように、違うクラスや職種の違う人たちとグループを編成した。しかし、意見交換が活発にできたグループとそうでないグループがあったので、メンバー構成を考える必要があった。

【2】 接遇研修

(1) 目標

- 1) 基本の接遇を理解し、信頼関係を構築するために必要なコミュニケーション能力の向上を図る。

(2) 計画と実践・評価と改善の課題

- 1) 基本の接遇を理解し、信頼関係を構築するために必要なコミュニケーション能力の向上を図る。

① 計画と実践

(ア) 講師招聘による研修を実施した。事前での打ち合わせで、本園のコミュニケーションの課題を話していたので、そのことを踏まえ、伝えるための『話し方』やコミュニケーションに焦点を当てた研修を実施していただいた。研修の前半は社会人として求められることや保育士に必要な接遇についての講義が行われた。後半は伝わる話し方を具体的な手法を用いて講義していただいた。

② 評価と改善の課題

(ア) まず、「オリエンテーション」では、保護者は安心感・信頼感を求めているという講師の言葉に多くの職員が納得の表情をしていた。特に「不安は不満に変わる」という言葉にはほとんどの職員が頷き、「状況に応じた表情、言葉遣いを徹底し、保護者に不安を与えないようにしていきたい」という感想があった。次に「印象の重要性」について、「人は既に会話を始める前からコミュニケーションは進んでいる。潜在意識で相手を判断している。」という話から、具体的な事例に対して興味を示す職員が多かった。講義中は講師の話に頷く姿やメモをとる職員が多く見られた。

- ・「言葉遣いは、心遣い」を意識して、自分のコミュニケーションの取り方を考えたい。
- ・爽やかな印象を与える身繕いに心がけたい
- ・接遇力を身につける8つの習慣を心がけて実践していきたい。

などの感想があり、コミュニケーションについての知識を深めたいという前向きな姿が見られたと感じる。「接遇とは、相手を思いやること」ということも理解できたのではないと思う。今回だけでなく、継続しての研修が大事だと思うので、次年度も引き続き接遇研修を実施していきたい。

ピアノ・絵本・わらべうた研修

(1) 年間目標

1) 保育者の資質の向上を図る。

4月	5月	6月
	(9・23) ピアノ研修：2名 (10・26) ピアノ研修：2名 (11・27) ピアノ研修：2名 (12・30) ピアノ研修：2名 (13) 絵本研修：①4名・②4名 (18) 絵本研修：①5名・②4名 (25) 絵本研修：①4名・②4名	(1・9) ピアノ研修：2名 (2・10) ピアノ研修：2名 (3・15) ピアノ研修：2名 (8・16) ピアノ研修：2名 (20・27) ピアノ研修：2名 (21・28) ピアノ研修：2名 (23・29) ピアノ研修：2名
7月	8月	9月
(4・13) ピアノ研修：2名 (5・19) ピアノ研修：2名 (6) ピアノ研修：2名	(5) ピアノ研修：2名	
10月	11月	12月
	(9) わらべうた研修： ①7名・②7名 (10) わらべうた研修： ①7名・②4名 (17) わらべうた研修： ①6名・②5名	
1月	2月	3月

(2) 計画と実践・評価と改善の課題

1) 保育者の資質の向上を図る。

①計画と実践

(ア)それぞれ専門の先生をお迎えし、研修の希望者を募り、ピアノ研修は4回シリーズ(14名)で、絵本研修は単発(のべ25名)で、わらべうた研修は単発(32名)で行った。

[ピアノ] 希望の動機として“苦手意識を克服し、子どもたちと楽しく歌えるようになりたい。”という理由が多かった。課題曲「おはようの歌」「おかえりの歌」と、それぞれの弾きたい曲を練習した。

[絵本] “絵本の読み聞かせが子どもに与える影響について” “絵本の必要性” “絵本の力” などについて、以上児や未満児向けの絵本を実際に読み聞かせをしていただきながら学んだ。

[わらべうた] 保育者が歌う優しい声を聞き、子どもたちが安心してふれあい遊びを楽しめるよう、その歌い方や遊び方を学んだ。また、5歳児を少人数交えて、実際に子どもたちへの声掛けの仕方なども学んだ。

②評価と改善の課題

(ア) 自ら希望して研修を受けることで、向上心を持って聞くことができた。保育の実践にすぐに役立った。などの声が聞かれた。今後もより多くの職員が受けられるように日程を調整していく。

[ピアノ] 講師の先生に、今まで弾いていた時の良くない癖を直していただき、スムーズに弾けるようになった。また、保育中に子どもと一緒に歌えるようになった。今後も教えていただいた練習方法をもとに、様々な曲に挑戦したい。

[絵本] 乳幼児期の絵本の大切さについて学ぶとともに、子どもたちの成長に合わせた絵本を選ぶことで、言葉の獲得やコミュニケーション能力を高め、イメージ(想像力)を高める効果があることを再認識した。今後も、子どもたちがより多くの絵本に出会い、良い刺激を与えることができるよう、また保育者自身も絵本を読むことを楽しみ、絵本の世界に浸れるような環境づくりを行っていく。

[わらべうた] 5歳児が参加することで、人数も増え、輪になって遊ぶ集団遊びやふれあい遊びのバリエーションが増えた。大人の優しい眼差しに包まれて、子どもたちも落ち着いて過ごすことを楽しんでいた。

福岡県保育協会・その他関係の活動計画と実践・評価と改善の課題

(1) 年間目標

1) 保育者の資質の向上を図る。

4月	5月	6月
(10) 普通救命講習: 10名 (26) 発達支援の取り組みとコーディネーターの役割について: 2名	(16) 宗像市子どもの安全に関する研修会①: 2名	(24) 給食研修: 1名 (29): 1名
7月	8月	9月
	(1) バルーン研修: 2名 (4) 宗像市子どもの安全に関する研修会②: 2名 (22) 宗像市子どもの安全に関する研修会③: 2名	(28) 幼児教育研修会: 1名 (28) 保育所等に勤務する看護師等を対象とした医療的ケア研修: 1名 (28・29) コーチング研修: 1名
10月	11月	12月
(24・25) コーチング研修: 1名	(22) 宗像市子ども基本条例研修会: 1名	
1月	2月	3月
(6) 福岡県子育て支援員研修: 3名 (20) 療育支援研修会: 1名	(16) 特定給食施設研修会: 1名 (21) 絵本と子ども研修会: 1名	(16) 宗像医師会医療的ケア児研修: 2名

(2) 計画と実践・評価と改善の課題

1) 保育者の資質の向上を図る。

①計画と実践

(ア) 行政と連携を持ち、より良い子どもの育ちを知るための研修に参加し、共通理解を図った。

②評価と改善の課題

(ア) それぞれの役割の中で自己研鑽を重ね、今後も専門性を高めて行く。

園内公開保育

4月	5月	6月
7月	8月	9月
(27) ゆき組 (3歳児)	(2) そら組 (4歳児) (8) さくらんぼ組 (0歳児) (24) もも組 (2歳児) (30) つき組 (5歳児)	(2) にじ組 (4歳児) (22) さくらんぼ組 (1歳児)
10月	11月	12月
		(8) にじ組 (4歳児) (13) つき組 (5歳児) (20) さくらんぼ組 (1歳児) (22) そら組 (4歳児)
1月	2月	3月
(12) さくらんぼ組 (0歳児)		

(1) 各園内公開保育後の協議会、及びアンケートを通しての評価と改善の課題

【1】 ゆき組 (3歳児) 実施日：令和4年7月27日 (水)

(参加者：園長、副園長、教育アドバイザー、理事1名、監事1名、主任1名、副主任1名、保育者4名)

<ねらい>

1) イメージした物を体で表現する事を楽しむ。

<評価と課題>

1) イメージした物を体で表現する事を楽しむ。

- ・子どもたちもルールが分かっていて「次は何？」と、いきいきした表情で楽しみに保育者の声掛けを待っていた。イメージしやすいものは、特に自由に表現する事が出来ていて、子どもたちから自然と「楽しいね。」という言葉が出てきていた。
- ・リーダー一人が頑張っていたので、サブの職員と連携し、全体を盛り上げるようにする。
- ・集中が途切れた時に、子どもたちにどう声を掛けるのか、子どもたちの言葉をどう引き出していくのかを考えて保育を行う。

【2】 そら組 (4歳児) 実施日：令和4年8月2日 (火)

(参加者：園長、副園長、教育アドバイザー、評議員1名、監事1名、主任2名、副主任2名、保育者3名)

<ねらい>

1) 「うれしいさん・かなしいさん」の絵本から、相手の気持ちを考えるきっかけにしていく。

<評価と課題>

- 1) 「うれしいさん・かなしいさん」の絵本から、相手の気持ちを考えるきっかけにしていく。
 - ・相手を悲しい気持ちにしてしまったときに何をすることで嬉しい気持ちに変えることができるのか、考えるきっかけになった。しかし「相手の気持ちを」という意味では、そこまでもっていくことができなかった。
 - ・子どもたちからは「うれしいがいっぱいの方が嬉しいよね。」という声が多くあったので、とても良かった。
 - ・机があつての保育だったが、発表は苦手な子の呟きも拾うことができるよう、机なしで子どもたちが円になって座っての保育も今後行ってみる。

【3】 さくらんぼ組（0歳児） 実施日：令和4年8月8日（月）

（参加者：園長、副園長、教育アドバイザー、評議員2名、主任2名、副主任1名）

<ねらい>

- 1) きんぎょを見つけながら、ウオーターマットの冷たさや心地良さを楽しむ

<評価と課題>

- 1) きんぎょを見つけながら、ウオーターマットの冷たさや心地良さを楽しむ
 - ・絵本に出て来る金魚をウオーターマットの中に入れて事で、ウオーターマットに興味を示す事が出来ていてよかった。手で触る、歩く、乗る等段階的に全身で感触を楽しんでいた。
 - ・子どもたちに対しての声掛けが全体的に小さかった。活動を終了する時に「楽しかったね。また遊ぼうね。」などの声掛けを行う。メリハリをつけるためにも言葉掛けを多く行っていく。

【4】 あんず組（2歳児） 実施日：令和4年8月24日（水）

（参加者：園長、副園長、教育アドバイザー、評議員1名、主任2名、副主任1名、保育者3名）

<ねらい>

- 1) クレヨンを使ってオリジナルのパンツを書くことを楽しむ。

<評価と課題>

- 1) クレヨンを使ってオリジナルのパンツを書くことを楽しむ。
 - ・子どもたちは自分のクレヨンを使えることに喜びを感じ、描くことを楽しんでいた。
 - ・保育の内容である「パンツ」が、日々の保育（生活面）を通して考えられ、“今これをしたい”という決定が自然で良かった。
 - ・しろうまにパンツを貼り終えた子が何をしたら良いのか、フラフラする姿もあったため、最後まで飽きないようにするためのものを考えておく。

【5】 つき組（5歳児） 実施日：令和4年8月30日（火）

（参加者：園長、副園長、教育アドバイザー、理事1名、評議員1名、主任2名、副主任1名、保育者3名）

<ねらい>

- 1) グループの友だちと協力して、一つの劇を作り上げ、人前で表現する事を楽しむ。

<評価と課題>

1) グループの友だちと協力して、一つの劇を作り上げ、人前で表現する事を楽しむ。

- ・6月から何度か練習を重ね、昨日の練習では落ち着いてできていたが、本番では初めてのステージの上でもあり、みんなが見てくれるという嬉しさもあり、気持ちが高ぶってしまった。事前にステージでも練習するなどするとよかった。準備不足を感じた。
- ・ステージの上に立つと恥ずかしくて言えない子には、保育者が横で出だしの言葉を言うと、思い出して言うことができた。友だちも、後ろで教えてくれたりしていた。
- ・グループの中での役決めやどんなお話があるかを話し合い進めていった。その過程（意見を出し合ったり練習を行ったりなど）が子どもたちの主体性を考えた保育になっていた。それが今日の発表に表れるとよかったが、初めての場所によって力が十分に発揮できなかった。子どもたちの“ステージでやりたい”という気持ちは受け止めつつ、やり慣れた場所での発表でも良かった。

【6】にじ組（4歳児） 実施日：令和4年9月2日（金）

（参加者：園長、副園長、教育アドバイザー、評議員2名、主任2名、副主任2名、保育者3名）

<ねらい>

1) 友だちと一緒に体を動かしながらルールのある遊びを楽しむ。

<評価と課題>

1) 友だちと一緒に体を動かしながらルールのある遊びを楽しむ。

- ・子どもたちは、楽しそうに“転がしドッジ”を行っていた。
- ・ルールの説明について、ホワイトボードでの説明だけではなく、職員が中に入って実際に逃げのお手本を見せるとより分かりやすい。
- ・その時々で子どもの姿が変わるので、丁寧に対応していく事が課題である。

【7】さくらんぼ組（1歳児） 実施日：令和4年9月22日（木）

（参加者：園長、副園長、教育アドバイザー、理事1名、評議員1名、主任2名、副主任1名、保育者1名）

<ねらい>

1) 指先を使って、保育者や友だちと一緒に遊ぶことを楽しむ。

<評価と課題>

1) 指先を使って、保育者や友だちと一緒に遊ぶことを楽しむ。

- ・子どもたちは、集中して遊びを楽しむ事ができていた。
- ・サブを務めた先生との打ち合わせだけでなく、他のグループの先生とも打ち合わせを行っていた。おやつなど、子どもたちの動き次第で打ち合わせ通りにいかない事もあったが、これからもこのような状況で過ごすので課題になる。計画通りにいかない等上手くいかない事がある時には、もう少し声を出して連携が取れるようする。

【8】にじ組（4歳児） 実施日：令和4年12月8日（木）

（参加者：理事長、園長、副園長、教育アドバイザー、評議員1名、主任2名、副主任3名、保育者1名）

<ねらい>

- 1) 世界に一つだけのけん玉を作り、友だちと一緒に遊ぶことを楽しむ。

<評価と課題>

- 1) 世界に一つだけのけん玉を作り、友だちと一緒に遊ぶことを楽しむ。
 - ・けん玉作りは、丁寧に教えることができた。飾り付けは、自分の好きなように楽しんで作っているところを見ることができた。反面、遊ぶ時間が短くなってしまった。
 - ・保育者の立ち位置は、部屋の環境に合わせて子どもが座る位置で変わる。子どもが椅子を後ろに向けて聞かないといけない状態ではなく、横に向ければ話が聞けるところに立つか、机の向きを考える。
 - ・“先生が前に立ったら、話を聞く姿勢をとる” → “静かに話を聞く” という流れを、日々の保育の中で実践していくことが今後の課題である。

【9】つき組（5歳児） 実施日：令和4年12月13日（火）

（参加者：園長、副園長、教育アドバイザー、主任2名、副主任3名、保育者2名）

<ねらい>

- 1) 友だちや保育者と一緒に、縄跳び遊びを楽しむ。

<評価と課題>

- 1) 友だちや保育者と一緒に、縄跳び遊びを楽しむ。
 - ・子どもたちは休憩を入れながら縄跳びを楽しむことができていた。また、子どもたち同士で、上手な友だちを見ながら練習する姿も見られて良かった。今回は公開保育ということもあり、他の先生方が援助して下さったが、本来であれば2人のため、そこが難しいところである。
 - ・保育士自身が楽しそうに跳んでいたことで、子どもたちもより楽しむことができた。
 - ・基本をどのように伝えていくのか、できるところ、できないところはどこなのかを見極め、底上げしていくことが大切である。また、子どもたちの気持ちを大切に、「できたね。」という喜びを共感することも必要である。

【10】さくらんぼ組（1歳児） 実施日：令和4年12月20日（火）

（参加者：園長、副園長、教育アドバイザー、主任2名、保育者3名）

<ねらい>

- 1) 指先を使って折り紙を折ったり、自由に表現したりすることを楽しむ。

<評価と課題>

- 1) 指先を使って折り紙を折ったり、自由に表現したりすることを楽しむ。
 - ・いろいろな月齢が混ざっていた為、折り紙をきれいに折れる子、ぐちゃぐちゃにする子もいたが、保育者と一緒に折ることで、子どもたちは楽しむことができていた。シール貼りは普段から好きな活動で、楽しむことができていた。
 - ・ラミネートが光の加減で見えにくい事がある。ツリーも、カーテンを閉め、カーテンにツリーを貼って話を聞ける環境を作るとよい。
 - ・折り紙も、折り方の説明をしてから配ってもよかった。

【11】そら組（4歳児） 実施日：令和4年12月22日（木）

（参加者：園長、教育アドバイザー、主任1名、副主任3名、保育者2名）

<ねらい>

1) 道具の正しい使い方や伝統行事について知り、羽子板作りを楽しむ。

<評価と課題>

1) 道具の正しい使い方や伝統行事について知り、羽子板作りを楽しむ。

- ・制作では、子どもたちが表現豊かに絵を描いて楽しむことができていた。また、お正月のしめ縄飾りや門松などの写真を持って来て、意味を伝える事ができた。
- ・話を長い時間聞くことが難しい、はさみの使い方が不安定な子どもを前の席に置いて話を聞く事はできていたが、説明が少し長くなってしまった。いつも今回のように1つの机に2人座って活動を行っているが、はさみを使った活動の時には3人一緒に座って行った方が、目が届きやすかったのかなと感じた。
- ・説明を行う時に、机と先生の距離が近く、両端の子どもが写真や絵本がよく見えていなかった。
- ・はさみについては、各年齢でどこまで育って欲しいのか、どの長さを切るのか、紙の大きさなどカリキュラムを確立していく。

【12】さくらんぼ組（0歳児） 実施日：令和5年1月12日（木）

（参加者：園長、副園長、教育アドバイザー、主任2名、副主任3名、保育者2名）

<ねらい>

1) マットやトンネルを使って体を動かすことを楽しむ。

<評価と課題>

1) マットやトンネルを使って体を動かすことを楽しむ。

- ・子どもたちは、それぞれ好きな場所でマットやトンネルを使い、体を動かすことを楽しむことができていた。
- ・指先遊びについている先生たちとの声掛けをもっとすると良かった。また、自分自身も盛り上げる声掛けが必要だった。
- ・0歳児の発達段階をしっかりと理解した上で、クラスミーティングの時にクラス担任みんなで話し、少人数に分かれて保育を行うことが大切である。

キャリアアップ研修

(1) 年間目標

1) 職員の処遇向上に向けてキャリアアップ研修の充実を図る。

4月	5月	6月
7月	8月	9月
10月	11月	12月
(5, 6) 障がい児保育 (1名) (26, 27) 食育・アレルギー (2名)	(7, 8) 保健衛生・安全 (3名)	(2, 6) 保護者支援・子育て支援 (5名) (12, 15) マネジメント (1名) (17, 20) マネジメント (1名) (9, 10) マネジメント (1名) (19, 26) マネジメント (1名) (19, 23, 26) マネジメント (2名)
1月	2月	3月

(2) 計画と実践・評価と改善の課題

1) 職員の処遇向上に向けてキャリアアップ研修の充実を図る。

※コロナ禍の為、リモートで20科目19名が受講した。

①研修の成果

(ア) 乳児期からの積み重ねが幼児への、そして生涯通しての土台となる事を改めて感じた。

(乳児保育)

(イ) 障がいの有無に関わらず、すべての子どもが安心して過ごせる環境を整える事が大切だという事を学んだ。(障がい児保育)

(ウ) 正しい知識を学び、保護者に伝える事が大切だと思った。(食育・アレルギー)

(エ) 大小に関わらずヒヤリハットの発見を大切にし、情報共有を行っていきたく考えた。

(保健衛生・安全)

(オ) 全ての支援を保育園だけで担うのではなく、専門機関につなぐ役割がある事を忘れてはいけないと思った。(保護者支援・子育て支援)

(カ) 職員育成のため、一人ひとりと対話する大切さを学んだ。(マネジメント)

②今後の課題

(ア) 先を見通しながら振り返り、気づき、改善しながら一人ひとりと丁寧に関わる。(乳児保育)

(イ) 保護者の子育てに対する思いをしっかりと受け止め、一緒に成長を見守る存在となる。

(障がい児保育)

(ウ) 誤配、誤食をしないように環境を整える。(食育・アレルギー)

(エ) 危険感受性を磨き、業務に潜む危険を発見していきたく。(保健衛生・安全)

(オ) 保育士・看護師・栄養士等のいる保育園の特性を活かして組織的に支援を行っていく。

(保護者支援・子育て支援)

(カ) 園外や園内での研修を行い、学びを通して保育の質の向上を目指し、職員一人ひとりの成長を通して園全体の底上げを図る。(マネジメント)